

- 当カタログのデーターは全て性能値であり保証値ではありません。
- カタログに掲載してある製品の色は実際のものとは印刷インキの再現上、多少異なる場合があります。
- 材料、仕様は予告なく変更する場合があります。
- 製品の保管及び取扱いについては、SDSをご参照の上、ご使用ください。

防水のことがわかるニッシン・オフィシャルサイト　**https://www.nisshinkogyo.co.jp/**

総合防水材料メーカー
日新工業株式会社
0120-86-2424

■本社／営業統括部　〒120-0025 東京都足立区千住東2－23－4……TEL. (03)3882-2571
■関　東　TEL.(03)3882-2641　■九　州　TEL.(092)451-1095　■広　島　TEL.(082)541-5033
■大　阪　TEL.(06)6263-7711　■札　幌　TEL.(011)215-1034　■工　場　埼玉・山形
■名古屋　TEL.(052)933-4761　■仙　台　TEL.(022)393-7209

Oct. 2026-5000 Vol.3-1 TP

NISSHIN

改質アスファルト防水 トーチ工法

メルタン21防水工法



日新工業株式会社

環境に優しく、さらに雨漏りのない快適な住環境を日新工業がプレゼンします。

今、地球環境への配慮は建築においても欠かせないものとなり、
モノを永く、大事に扱うことが大切な時代になりました。
建築もメンテナンスを行いながら永く使い、資源を無駄使いせず、
廃棄物を出さないことが環境悪化への大きな歯止めとなります。
メルタン21防水工法は、信頼性の高い改質アスファルトをベースに
開発された改質アスファルトルーフィングによるトーチ工法です。
従来型のアスファルト防水熱工法に比べ、施工に要する材料や
工具類の数が少なく、また煙りや臭気も大幅に少ないなど、
都市部での防水施工に大きなアドバンテージを有します。
ここに、新築及び改修工事を対象とした仕様を整備いたしました。



水密性の高い防水層

ルーフィングの重ね部をトーチバーナーで熱融着するので、水密性の高い一体化された防水層が作れます。

優れた耐外傷性

合理化された工場で生産された均質なルーフィング類により、厚さ4mm以上の防水層を作るので、耐外傷性に優れています。

優れた破断抵抗性

合成繊維不織布と改質アスファルトから作られたルーフィングは高強度・高伸度を有し、下地のムーブメントにもよく追従します。

Feature

環境負荷の低減

熱アスファルト工法に比べ、臭いや煙の発生量が少なく、環境への負荷が少ない工法です。また、有機溶剤を全く使用することなく施工することも可能になり、中毒や火災の危険性も少ない工法です。

優れた耐久性

改質アスファルトルーフィングは、耐候性に優れ、寒冷地から温暖地まで、幅広い地域で使用できます。省力化、工期の短縮が図れる単層又は２層工法であるため、従来の積層工法に比べて施工性が向上します。

仕様記号の見方

MSC－120FH

MSC	1	2	－	3	4	5	6	7
メルタン21防水工法	仕様の種類	下地の種類		断熱性能	ルーフィングの枚数	工法の種類	砂付の種類	仕上塗料の種類 仕上材の種類

各記号との対応表

	記号	内容
1 仕様の種類	F	保護仕様（トーチ）or（粘着＋トーチ）
	TF	保護仕様（トーチ＋トーチ）
	S	露出仕様（トーチ）or（粘着＋トーチ）
	TS	露出仕様（トーチ＋トーチ）
2 下地の種類	C	コンクリート
	A	アスファルト防水層
	S	合成高分子系防水層
3 断熱性能	1	非断熱
	2	断熱
	3	断熱（防湿層あり）
4 ルーフィングの枚数	1	ルーフィング 1枚（単層）
	2	ルーフィング 2枚（複層）
5 工法の種類	0	密着工法
	1	絶縁工法
6 砂付の種類	F	露出複層防水工法でメルタンキャップ21Aをメルタンキャップ21Fに替える場合
7 仕上塗料の種類	NZ	プレノカラー遮熱（遮熱）
	MB	サーモロックカラーMB（暗色系遮熱）
	FP	FPクール（飛び火抑制・遮熱）
	H	ハイクール（高耐候性遮熱）
	R	ロッコート（飛び火抑制）
仕上材の種類	PF	PFシステム（乾式浮床）
	T	トップタイト（アスファルト成形板）
	K	カチトール（砂利まき）
	B	ピロブロック（コンクリート成型ブロック）
	C	コンクリート（モルタル）

新築工事・既存保護コンクリート，既存防水層撤去①

露出仕様　密着工法

MSC-110
単層工法（トーチ）

下地	RC·PC·ALC
勾配	1/50～1/20
重量	5.6kg/m²
厚み	4.0mm

工程	平　場	立上り
1	プライマーAQ 0.2kg/m²	プライマーAQ 0.2kg/m²
2	メルタンキャップ21F	メルタンキャップ21F
3	仕上塗料	仕上塗料
4	—	—

MSC-120
複層工法(粘着＋トーチ)

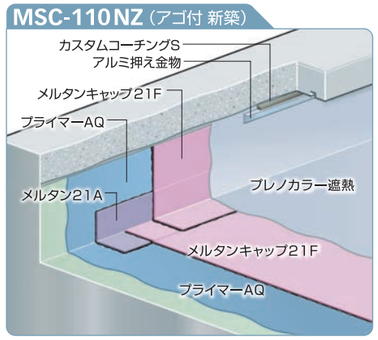
下地	RC·PC·ALC
勾配	1/50～1/20
重量	7.0kg/m²
厚み	5.0mm

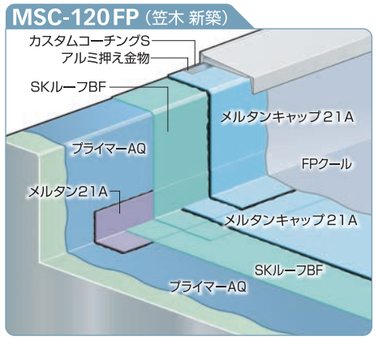
工程	平　場	立上り
1	プライマーAQ 0.2kg/m²	プライマーAQ 0.2kg/m²
2	SKルーフBF	SKルーフBF
3	メルタンキャップ21A	メルタンキャップ21A
4	仕上塗料	仕上塗料

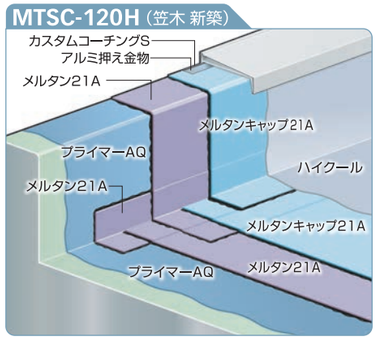
MTSC-120
複層工法（トーチ＋トーチ）

下地	RC·PC·ALC
勾配	1/50～1/20
重量	7.8kg/m²
厚み	5.5mm

工程	平　場	立上り
1	プライマーAQ 0.2kg/m²	プライマーAQ 0.2kg/m²
2	メルタン21A	メルタン21A
3	メルタンキャップ21A	メルタンキャップ21A
4	仕上塗料	仕上塗料







特記事項

「**メルタンキャップ21A**」に替えて、「**メルタンキャップ21F**」を使用することもできます。その際は、仕様記号にFを付けます。

例

MSC-120F 複層工法(粘着+トーチ)	1	2	3	4
	プライマーAQ 0.2kg/m²	SKルーフBF	メルタンキャップ21F	仕上塗料

露出仕様　絶縁工法

MSC-111
単層工法（トーチ）

下地	RC·PC·ALC
勾配	1/50～1/20
重量	5.6kg/m²
厚み	4.0mm

工程	平　場	立上り
1	プライマーAQ 0.2kg/m²	プライマーAQ 0.2kg/m²
2	メルタンキャップ21F（スポット溶着）	メルタンキャップ21F
3	仕上塗料	仕上塗料
4	—	—

MSC-121
複層工法(粘着＋トーチ)

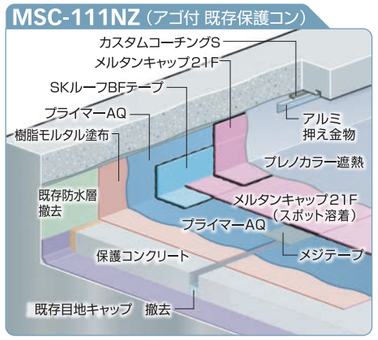
下地	RC·PC·ALC
勾配	1/50～1/20
重量	7.6kg/m²
厚み	5.0mm

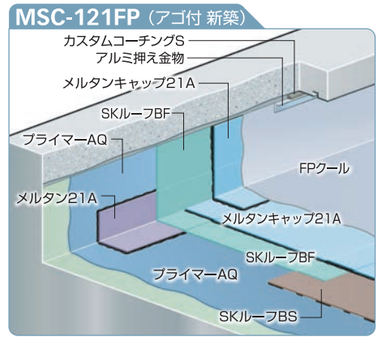
工程	平　場	立上り
1	プライマーAQ 0.2kg/m²	プライマーAQ 0.2kg/m²
2	SKルーフBS	SKルーフBF
3	メルタンキャップ21A	メルタンキャップ21A
4	仕上塗料	仕上塗料

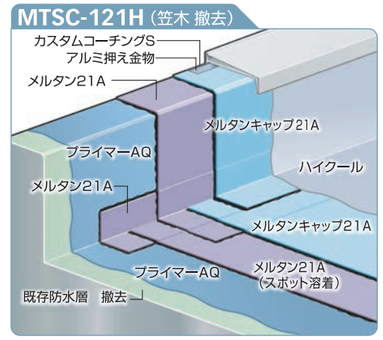
MTSC-121
複層工法（トーチ＋トーチ）

下地	RC·PC·ALC
勾配	1/50～1/20
重量	7.8kg/m²
厚み	5.5mm

工程	平　場	立上り
1	プライマーAQ 0.2kg/m²	プライマーAQ 0.2kg/m²
2	メルタン21A（スポット溶着）	メルタン21A
3	メルタンキャップ21A	メルタンキャップ21A
4	仕上塗料	仕上塗料



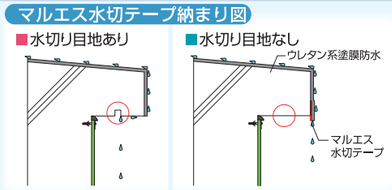




アゴ下に水切り目地がない場合

アゴ下に水切り目地がない場合には、「マルエス水切テープ」を使用してください。
詳細は「セピロン防水」カタログをご参照ください。

マルエス水切テープ納まり図



標準仕上塗料（遮熱）

製品名	プレノカラー遮熱	サーモロックカラーMB※	FPクール※	ハイクール
記　号	NZ	MB	FP	H
種　類	カラー遮熱	暗色系カラー遮熱	飛び火抑制·遮熱	高耐候性遮熱
塗布量の目安	0.5kg/m²	0.5kg/m²	0.8kg/m²	0.5kg/m²
塗替の目安	7～9年	7～9年	10～13年	10～13年

■ 弊社製品以外の仕上塗料を塗布した場合は、不具合の発生の恐れがある為、ご注意ください。
※受注生産: 納期や条件については、最寄りの営業所にお問い合わせください。

飛び火対応用仕上塗料

製品名	ロッコート※
記　号	R
種　類	飛び火抑制
塗布量の目安	0.8～2.0kg/m²
塗替の目安	7～9年

※受注生産

注意事項

- 気象条件や施工条件によっては、「プライマーAQ」に替えて、「アスファルトプライマー」を使用することもできます。
- 絶縁工法には、「ニューステンレスベント」を50～100m²に1個設置する脱気工法の採用をお勧めします。
- 既存保護コンクリート下地の場合は、原則として絶縁工法（MSC-111、MSC-121、MTSC-121）を採用してください。
- 入隅部の増張りは、「メルタン21A」に替えて、「SKルーフBFテープ」を使用することもできます。
- 部分的に防水層へ保護材を設ける場合（メンテナンス通路等）は、「トップタイト」を使用することができます。

新築工事・既存保護コンクリート，既 存防水層撤去②

露出断熱仕様　密着工法

MSC-220※
防湿層無工法（粘着+トーチ）

下地	RC・PC・ALC	
勾配	1／50～1／20	
重量	9.2kg／m²	
厚み	5.0mm	
工程	平　場	立上り
1	USボンドA(点貼り) 0.8kg／m²	プライマーAQ 0.2kg／m²
2	シェーンボード	SKルーフBF
3	SKルーフBF	メルタンキャップ21A
4	メルタンキャップ21A	仕上塗料
5	仕上塗料	—
6	—	—
7	—	—

MSC-320※
防湿層有工法（粘着+トーチ）

下地	RC・PC・ALC	
勾配	1／50～1／20	
重量	10.9kg／m²	
厚み	5.0mm	
工程	平　場	立上り
1	プライマーAQ 0.2kg／m²	プライマーAQ 0.2kg／m²
2	カスタムM	SKルーフBF
3	USボンドA (点貼り) 0.8kg／m²	メルタンキャップ21A
4	シェーンボード	仕上塗料
5	SKルーフBF	—
6	メルタンキャップ21A	—
7	仕上塗料	—

特記事項

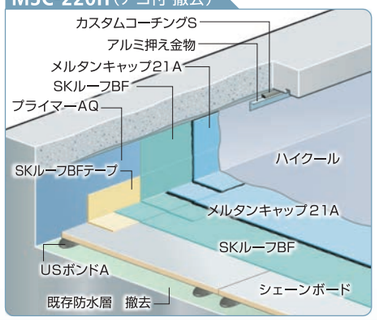
「メルタンキャップ21A」に替えて、「メルタンキャップ21F」を使用することもできます。
その際は、仕様記号に F を付けます。

例

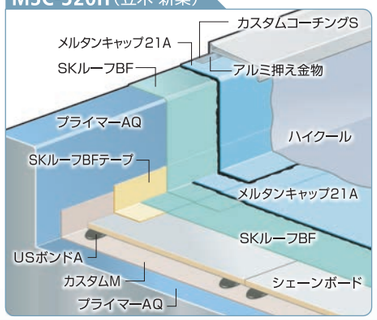
MSC-220F
防湿層無工法（粘着+トーチ）

1	USボンドA(点貼り) 0.8kg／m²
2	シェーンボード
3	SKルーフBF
4	メルタンキャップ21F
5	仕上塗料

MSC-220H（アゴ付 撤去）



MSC-320H（笠木 新築）



飛び火認定について

※国土交通省より、飛び火認定（DR-0894・DR-2007(2)・DR-2084(4)）を取得いたしました。これにより断熱材の厚さ50mmを超える場合でも法第62条（旧第63条）や法第22条の屋根に適用することができます。（詳細は、p.19を参照ください。）

露出断熱仕様　絶縁工法

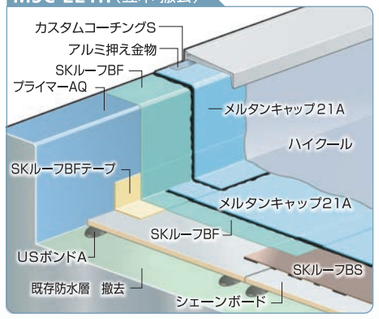
MSC-221※
防湿層無工法（粘着+トーチ）

下地	RC・PC・ALC	
勾配	1／50～1／20	
重量	9.8kg／m²	
厚み	5.0mm	
工程	平　場	立上り
1	USボンドA(点貼り) 0.8kg／m²	プライマーAQ 0.2kg／m²
2	シェーンボード	SKルーフBF
3	SKルーフBS	メルタンキャップ21A
4	メルタンキャップ21A	仕上塗料
5	仕上塗料	—
6	—	—
7	—	—

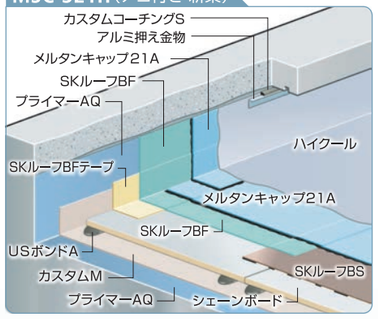
MSC-321※
防湿層有工法（粘着+トーチ）

下地	RC・PC・ALC	
勾配	1／50～1／20	
重量	11.5kg／m²	
厚み	5.0mm	
工程	平　場	立上り
1	プライマーAQ 0.2kg／m²	プライマーAQ 0.2kg／m²
2	カスタムM	SKルーフBF
3	USボンドA(点貼り) 0.8kg／m²	メルタンキャップ21A
4	シェーンボード	仕上塗料
5	SKルーフBS	—
6	メルタンキャップ21A	—
7	仕上塗料	—

MSC-221H（笠木 撤去）



MSC-321H（アゴ付き 新築）



飛び火認定について

※国土交通省より、飛び火認定（DR-0894・DR-2007(2)・DR-2084(4)）を取得いたしました。これにより断熱材の厚さ50mmを超える場合でも法第62条（旧第63条）や法第22条の屋根に適用することができます。（詳細は、p.19を参照ください。）

標準仕上塗料（遮熱）

製品名	プレノカラー遮熱	サーモロックカラーMB※	FPクール※	ハイクール
記　号	NZ	MB	FP	H
種　類	カラー遮熱	暗色系カラー遮熱	飛び火抑制・遮熱	高耐候性遮熱
塗布量の目安	0.5kg／m²	0.5kg／m²	0.8kg／m²	0.5kg／m²
塗替の目安	7～9年	7～9年	10～13年	10～13年

■ 弊社製品以外の仕上塗料を塗布した場合は、不具合の発生の恐れがある為、ご注意ください。
※受注生産 納期や条件については、最寄りの営業所にお問い合わせください。

飛び火対応用仕上塗料

製品名	ロッコート※
記　号	R
種　類	飛び火抑制
塗布量の目安	0.8～2.0kg／m²
塗替の目安	7～9年

注意事項

- 気象条件や施工条件によっては、「プライマーAQ」に替えて、「アスファルトプライマー」を使用することもできます。
- 絶縁工法には、「ニューステンレスベント」を50～100m²に1個設置する脱気工法の採用をお勧めします。
- 既存保護コンクリート下地の場合は、原則として絶縁工法（MSC-221、MSC-321）を採用してください。
- 「シェーンボード」に浮きが生じた場合は、断熱材の背にカッターを入れてなじませます。
- 部分的に防水層へ保護材を設ける場合（メンテナンス通路等）は、「トップタイト」を使用することができます。

新築工事・既存保護コンクリート，既 存防水層撤去③

保護仕様　密着工法

MFC-110
単層工法（トーチ）

下地	RC	
勾配	1/100～1/50	
重量	5.6kg/m²	
厚み	4.0mm	
工程	平　場	立上り
1	プライマーAQ 0.2kg/m²	プライマーAQ 0.2kg/m²
2	メルタン21	メルタン21 ※1
3	PTクロス（USボンドA 0.2kg/m²）	仕上材 ※3
4	仕上材	—
5	—	—

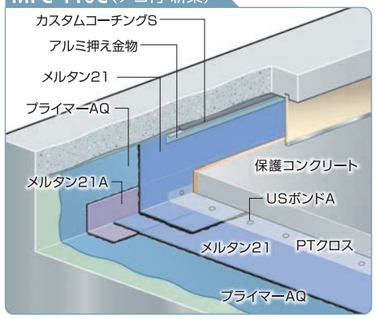
MFC-120
複層工法（粘着+トーチ）

下地	RC	
勾配	1/100～1/50	
重量	6.3kg/m²	
厚み	4.5mm	
工程	平　場	立上り
1	プライマーAQ 0.2kg/m²	プライマーAQ 0.2kg/m²
2	SKルーフBF	SKルーフBF
3	メルタン21A	メルタン21A ※2
4	PTクロス（USボンドA 0.2kg/m²）	仕上材 ※3
5	仕上材	—

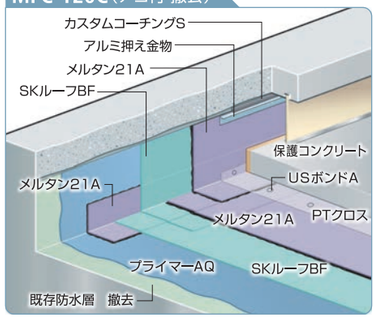
MTFC-120
複層工法（トーチ+トーチ）

下地	RC	
勾配	1/100～1/50	
重量	7.0kg/m²	
厚み	5.0mm	
工程	平　場	立上り
1	プライマーAQ 0.2kg/m²	プライマーAQ 0.2kg/m²
2	メルタン21A	メルタン21A
3	メルタン21A	メルタン21A ※2
4	PTクロス（USボンドA 0.2kg/m²）	仕上材 ※3
5	仕上材	—

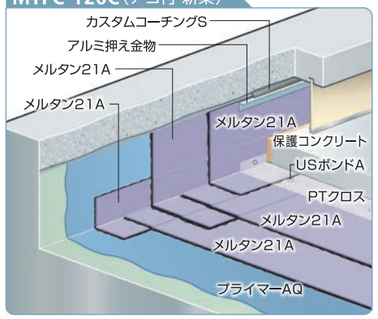
MFC-110C（アゴ付 新築）



MFC-120C（アゴ付 撤去）



MTFC-120C（アゴ付 新築）



保護仕様　絶縁工法

MFC-111
単層工法（トーチ）

下地	RC	
勾配	1/100～1/50	
重量	5.6kg/m²	
厚み	4.0mm	
工程	平　場	立上り
1	プライマーAQ 0.2kg/m²	プライマーAQ 0.2kg/m²
2	メルタン21（スポット溶着）	メルタン21 ※1
3	PTクロス（USボンドA 0.2kg/m²）	仕上材 ※3
4	仕上材	—
5	—	—

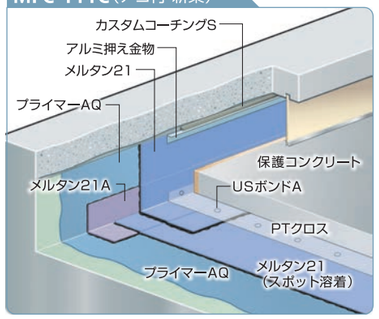
MFC-121
複層工法（粘着+トーチ）

下地	RC	
勾配	1/100～1/50	
重量	6.9kg/m²	
厚み	4.5mm	
工程	平　場	立上り
1	プライマーAQ 0.2kg/m²	プライマーAQ 0.2kg/m²
2	SKルーフBS	SKルーフBF
3	メルタン21A	メルタン21A ※2
4	PTクロス（USボンドA 0.2kg/m²）	仕上材 ※3
5	仕上材	—

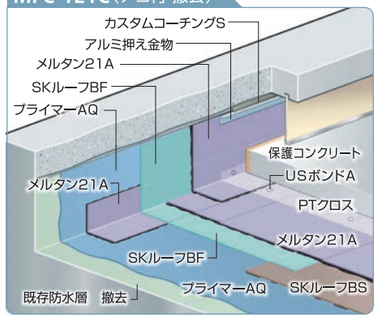
MTFC-121
複層工法（トーチ+トーチ）

下地	RC	
勾配	1/100～1/50	
重量	7.0kg/m²	
厚み	5.0mm	
工程	平　場	立上り
1	プライマーAQ 0.2kg/m²	プライマーAQ 0.2kg/m²
2	メルタン21A（スポット溶着）	メルタン21A
3	メルタン21A	メルタン21A ※2
4	PTクロス（USボンドA 0.2kg/m²）	仕上材 ※3
5	仕上材	—

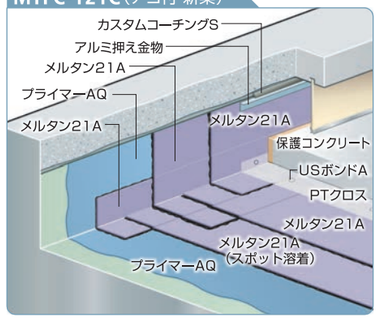
MFC-111C（アゴ付 新築）



MFC-121C（アゴ付 撤去）



MTFC-121C（アゴ付 新築）



立上りを砂付仕上げとする場合

※1『メルタン21』に替えて『メルタンキャップ21F』を使用します。
※2『メルタン21A』に替えて『メルタンキャップ21A(F)』を使用します。
※3『仕上材』に替えて『仕上塗料』を使用します。（p.4参照）

仕上材一覧

製品名	PFシステム	トップタイト	カチトール	ピロブロック	コンクリート
種　類	乾式浮床	アスファルト成形板	砂利まき	コンクリート成型ブロック	コンクリート（モルタル）
仕様記号	PF	T	K	B	C

注意事項

- 気象条件や施工条件によっては、「プライマーAQ」に替えて、「アスファルトプライマー」を使用することもできます。
- 「PFシステム」・「トップタイト」・「ピロブロック」仕上げの場合は、「PTクロス」を省略することができます。
- 入隅部の増張りは、「メルタン21A」に替えて、「SKルーフBFテープ」を使用することもできます。

新築工事・既存保護コンクリート，既 存防水層撤去④

保護断熱仕様　密着工法

MFC-210
単層工法（トーチ）

下地	RC
勾配	1/100～1/50
重量	7.2kg/m²
厚み	4.0mm

工程	平　場	立上り
1	プライマーAQ 0.2kg/m²	プライマーAQ 0.2kg/m²
2	メルタン21	メルタン21 ※1
3	USボンドA(線状塗布) 0.5kg/m²	仕上材 ※3
4	BKボードE	—
5	PTクロス (USボンドA0.2kg/m²)	—
6	仕上材	—
7	—	—

MFC-220
複層工法（粘着+トーチ）

下地	RC
勾配	1/100～1/50
重量	7.9kg/m²
厚み	4.5mm

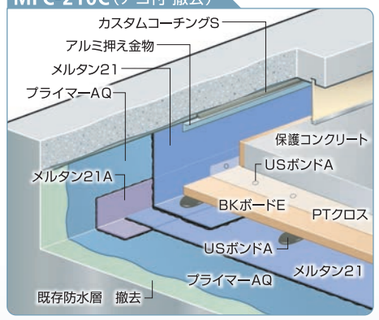
工程	平　場	立上り
1	プライマーAQ 0.2kg/m²	プライマーAQ 0.2kg/m²
2	SKルーフBF	SKルーフBF
3	メルタン21A	メルタン21A ※2
4	USボンドA(線状塗布) 0.5kg/m²	仕上材 ※3
5	BKボードE	—
6	PTクロス (USボンドA0.2kg/m²)	—
7	仕上材	—

MTFC-220
複層工法（トーチ+トーチ）

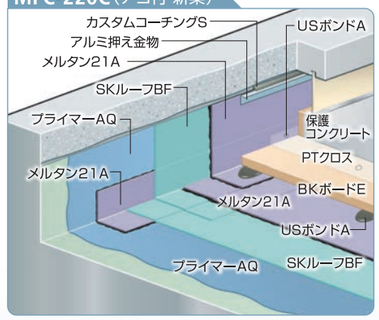
下地	RC
勾配	1/100～1/50
重量	8.6kg/m²
厚み	5.0mm

工程	平　場	立上り
1	プライマーAQ 0.2kg/m²	プライマーAQ 0.2kg/m²
2	メルタン21A	メルタン21A
3	メルタン21A	メルタン21A ※2
4	USボンドA(線状塗布) 0.5kg/m²	仕上材 ※3
5	BKボードE	—
6	PTクロス (USボンドA0.2kg/m²)	—
7	仕上材	—

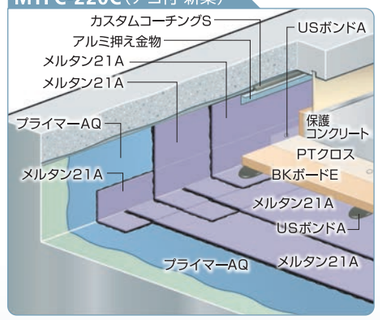
MFC-210C（アゴ付 撤去）



MFC-220C（アゴ付 新築）



MTFC-220C（アゴ付 新築）



保護断熱仕様　絶縁工法

MFC-211
単層工法（トーチ）

下地	RC
勾配	1/100～1/50
重量	7.2kg/m²
厚み	4.0mm

工程	平　場	立上り
1	プライマーAQ 0.2kg/m²	プライマーAQ 0.2kg/m²
2	メルタン21 (スポット溶着)	メルタン21 ※1
3	USボンドA(線状塗布) 0.5kg/m²	仕上材 ※3
4	BKボードE	—
5	PTクロス (USボンドA0.2kg/m²)	—
6	仕上材	—
7	—	—

MFC-221
複層工法（粘着+トーチ）

下地	RC
勾配	1/100～1/50
重量	8.5kg/m²
厚み	4.5mm

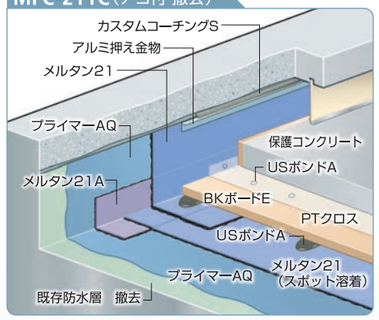
工程	平　場	立上り
1	プライマーAQ 0.2kg/m²	プライマーAQ 0.2kg/m²
2	SKルーフBS	SKルーフBF
3	メルタン21A	メルタン21A ※2
4	USボンドA(線状塗布) 0.5kg/m²	仕上材 ※3
5	BKボードE	—
6	PTクロス (USボンドA0.2kg/m²)	—
7	仕上材	—

MTFC-221
複層工法（トーチ+トーチ）

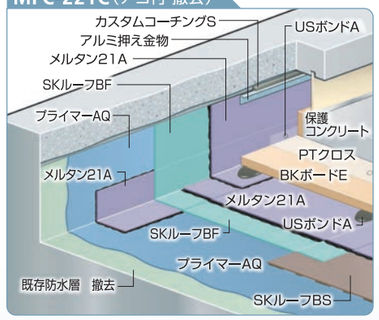
下地	RC
勾配	1/100～1/50
重量	8.6kg/m²
厚み	5.0mm

工程	平　場	立上り
1	プライマーAQ 0.2kg/m²	プライマーAQ 0.2kg/m²
2	メルタン21A (スポット溶着)	メルタン21A
3	メルタン21A	メルタン21A ※2
4	USボンドA(線状塗布) 0.5kg/m²	仕上材 ※3
5	BKボードE	—
6	PTクロス (USボンドA0.2kg/m²)	—
7	仕上材	—

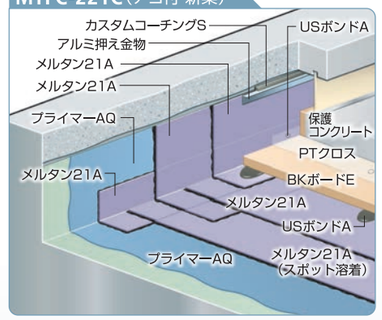
MFC-211C（アゴ付 撤去）



MFC-221C（アゴ付 撤去）



MTFC-221C（アゴ付 新築）



立上りを砂付仕上げとする場合

※1『メルタン21』に替えて『メルタンキャップ21F』を使用します。
※2『メルタン21A』に替えて『メルタンキャップ21A(F)』を使用します。
※3『仕上材』に替えて『仕上塗料』を使用します。（p.4参照）

仕上材一覧

製品名	PFシステム	カチトール	ピロブロック	コンクリート
種　類	乾式浮床	砂利まき	コンクリート成型ブロック	コンクリート（モルタル）
仕様記号	PF	K	B	C

注意事項

- 気象条件や施工条件によっては、「プライマーAQ」に替えて、「アスファルトプライマー」を使用することもできます。
- 「PFシステム」・「ピロブロック」仕上げの場合は、「PTクロス」を省略することができます。
- 入隅部の増張りは、「メルタン21A」に替えて、「SKルーフBFテープ」を使用することもできます。

既存アスファルト防水層①

露出仕様　密着工法

MSA-110
単層工法（トーチ）

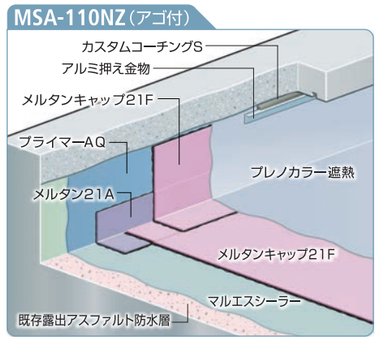
下地	アスファルト防水層	
勾配	1/50～1/20	
重量	6.4kg/m²	
厚み	4.0mm	
工程	平　場	立上り
1	マルエスシーラー★ 1.0kg/m²	プライマーAQ 0.2kg/m²
2	メルタンキャップ21F	メルタンキャップ21F
3	仕上塗料	仕上塗料
4	—	—
5	—	—

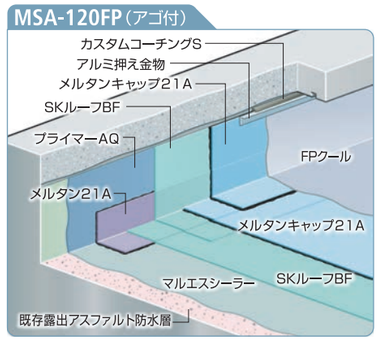
MSA-120
複層工法（粘着+トーチ）

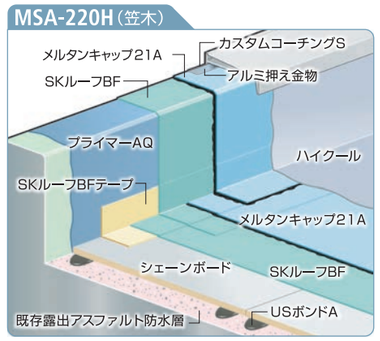
下地	アスファルト防水層	
勾配	1/50～1/20	
重量	7.8kg/m²	
厚み	5.0mm	
工程	平　場	立上り
1	マルエスシーラー★ 1.0kg/m²	プライマーAQ 0.2kg/m²
2	SKルーフBF	SKルーフBF
3	メルタンキャップ21A	メルタンキャップ21A
4	仕上塗料	仕上塗料
5	—	—

MSA-220
複層断熱工法（粘着+トーチ）

下地	アスファルト防水層	
勾配	1/50～1/20	
重量	9.2kg/m²	
厚み	5.0mm	
工程	平　場	立上り
1	USボンドA(点貼り) 0.8kg/m²	プライマーAQ 0.2kg/m²
2	シェーンボード	SKルーフBF
3	SKルーフBF	メルタンキャップ21A
4	メルタンキャップ21A	仕上塗料
5	仕上塗料	—







特記事項

「**メルタンキャップ21A**」に替えて、「**メルタンキャップ21F**」を使用することもできます。その際は、仕様記号に**F**を付けます。

例

MSA-120F
複層工法（粘着+トーチ）

1	2	3	4
マルエスシーラー★ 1.0kg/m²	SKルーフBF	メルタンキャップ21F	仕上塗料

露出仕様　絶縁工法

MSA-121
複層工法（粘着+トーチ）

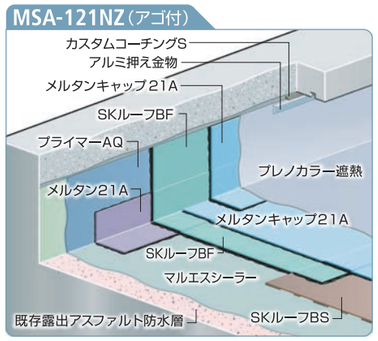
下地	アスファルト防水層	
勾配	1/50～1/20	
重量	8.4kg/m²	
厚み	5.0mm	
工程	平　場	立上り
1	マルエスシーラー★ 1.0kg/m²	プライマーAQ 0.2kg/m²
2	SKルーフBS	SKルーフBF
3	メルタンキャップ21A	メルタンキャップ21A
4	仕上塗料	仕上塗料
5	—	—

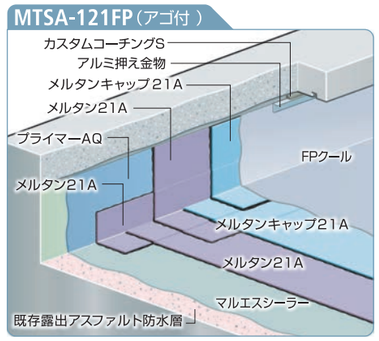
MTSA-121
複層工法（トーチ+トーチ）

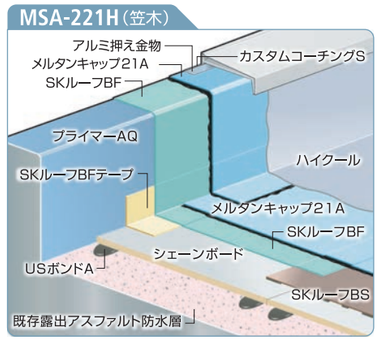
下地	アスファルト防水層	
勾配	1/50～1/20	
重量	8.6kg/m²	
厚み	5.5mm	
工程	平　場	立上り
1	マルエスシーラー★ 1.0kg/m²	プライマーAQ 0.2kg/m²
2	メルタン21A※（スポット溶着）	メルタン21A
3	メルタンキャップ21A	メルタンキャップ21A
4	仕上塗料	仕上塗料
5	—	—

MSA-221
複層断熱工法（粘着+トーチ）

下地	アスファルト防水層	
勾配	1/50～1/20	
重量	9.8kg/m²	
厚み	5.0mm	
工程	平　場	立上り
1	USボンドA(点貼り) 0.8kg/m²	プライマーAQ 0.2kg/m²
2	シェーンボード	SKルーフBF
3	SKルーフBS	メルタンキャップ21A
4	メルタンキャップ21A	仕上塗料
5	仕上塗料	—







※ メルタン21Aを全面溶着にすることができます。その際の仕様記号はMTSA-120となります。

マルエスシーラー塗布量　★下地の状態によって塗布量は、右記の範囲内とします。　塗布量：0.8kg/m²～1.2kg/m²

標準仕上塗料（遮熱）

製品名	プレノカラー遮熱	サーモロックカラーMB※	FPクール※	ハイクール
記　号	NZ	MB	FP	H
種　類	カラー遮熱	暗色系カラー遮熱	飛び火抑制・遮熱	高耐候性遮熱
塗布量の目安	0.5kg/m²	0.5kg/m²	0.8kg/m²	0.5kg/m²
塗替の目安	7～9年	7～9年	10～13年	10～13年

■ 弊社製品以外の仕上塗料を塗布した場合は、不具合の発生の恐れがある為、ご注意ください。
※受注生産 納期や条件については、最寄りの営業所にお問い合わせください。

飛び火対応用仕上塗料

製品名	ロッコート※
記　号	R
種　類	飛び火抑制
塗布量の目安	0.8～2.0kg/m²
塗替の目安	7～9年

注意事項

- 気象条件や施工条件によっては、「プライマーAQ」に替えて、「アスファルトプライマー」を使用することもできます。
- 絶縁工法には、「ニューステンレスベント」を50～100m²に1個設置する脱気工法の採用をお勧めします。
- 「シェーンボード」に浮きが生じた場合は、断熱材の背にカッターを入れてなじませます。
- 「マルエスシーラー」は、下地の状態によって塗布量を変えることができます。
- 断熱工法で下地処理材が必要な場合は、「AQシーラー」を使用してください。「マルエスシーラー」を塗布する場合は、工程1を「USボンドA」に替えて「USボンド0.5kg/m²」を使用してください。
- 入隅部の増張りは、「メルタン21A」に替えて、「SKルーフBFテープ」を使用することもできます。（露出断熱の場合は「SKルーフBFテープ」のみ適用）
- 部分的に防水層へ保護材を設ける場合（メンテナンス通路等）は、「トップタイト」を使用することができます。

既存アスファルト防水層②

保護仕様　密着工法

MFA-110
単層工法（トーチ）

下地	アスファルト防水層
勾配	1/100～1/50
重量	6.4kg/m²
厚み	4.0mm

工程	平　場	立上り
1	マルエスシーラー★ 1.0kg/m²	プライマーAQ 0.2kg/m²
2	メルタン21	メルタン21※1
3	PTクロス（USボンドA 0.2kg/m²）	仕上材※3
4	仕上材	—
5	—	—
6	—	—
7	—	—

MFA-120
複層工法（粘着+トーチ）

下地	アスファルト防水層
勾配	1/100～1/50
重量	7.1kg/m²
厚み	4.5mm

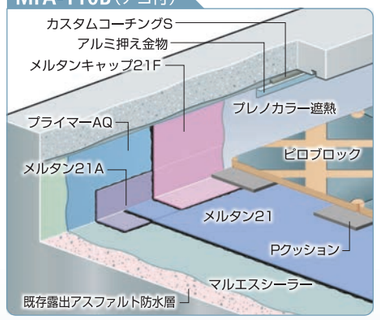
工程	平　場	立上り
1	マルエスシーラー★ 1.0kg/m²	プライマーAQ 0.2kg/m²
2	SKルーフBF	SKルーフBF
3	メルタン21A	メルタン21A※2
4	PTクロス（USボンドA 0.2kg/m²）	仕上材※3
5	仕上材	—
6	—	—
7	—	—

MTFA-120
複層工法（トーチ+トーチ）

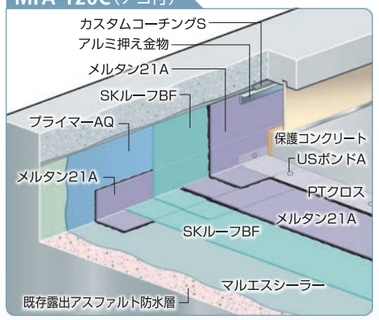
下地	アスファルト防水層
勾配	1/100～1/50
重量	7.8kg/m²
厚み	5.0mm

工程	平　場	立上り
1	マルエスシーラー★ 1.0kg/m²	プライマーAQ 0.2kg/m²
2	メルタン21A	メルタン21A
3	メルタン21A	メルタン21A※1
4	PTクロス（USボンドA 0.2kg/m²）	仕上材※3
5	仕上材	—
6	—	—
7	—	—

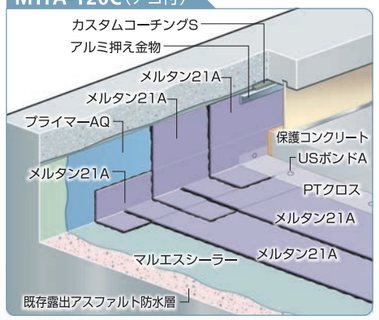
MFA-110B（アゴ付）



MFA-120C（アゴ付）



MTFA-120C（アゴ付）



立上りを砂付仕上げとする場合

※1『メルタン21』に替えて『メルタンキャップ21F』を使用します。
※2『メルタン21A』に替えて『メルタンキャップ21A(F)』を使用します。
※3『仕上材』に替えて『仕上塗料』を使用します。（p.4参照）

保護断熱仕様　密着工法

MFA-210
単層工法（トーチ）

下地	アスファルト防水層
勾配	1/100～1/50
重量	8.0kg/m²
厚み	4.0mm

工程	平　場	立上り
1	マルエスシーラー★ 1.0kg/m²	プライマーAQ 0.2kg/m²
2	メルタン21	メルタン21※1
3	USボンドA（線状塗布） 0.5kg/m²	仕上材※3
4	BKボードE	—
5	PTクロス（USボンドA0.2kg/m²）	—
6	仕上材	—
7	—	—

MFA-220
複層工法（粘着+トーチ）

下地	アスファルト防水層
勾配	1/100～1/50
重量	8.7kg/m²
厚み	4.5mm

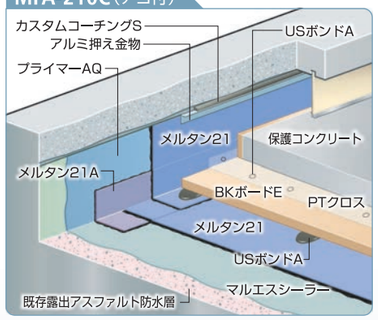
工程	平　場	立上り
1	マルエスシーラー★ 1.0kg/m²	プライマーAQ 0.2kg/m²
2	SKルーフBF	SKルーフBF
3	メルタン21A	メルタン21A※2
4	USボンドA（線状塗布） 0.5kg/m²	仕上材※3
5	BKボードE	—
6	PTクロス（USボンドA0.2kg/m²）	—
7	仕上材	—

MTFA-220
複層工法（トーチ+トーチ）

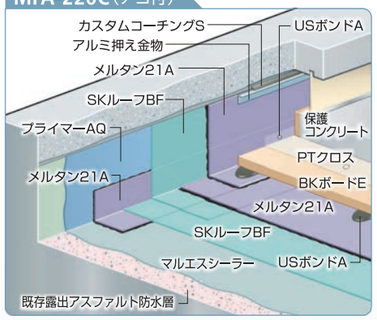
下地	アスファルト防水層
勾配	1/100～1/50
重量	9.4kg/m²
厚み	5.0mm

工程	平　場	立上り
1	マルエスシーラー★ 1.0kg/m²	プライマーAQ 0.2kg/m²
2	メルタン21A	メルタン21A
3	メルタン21A	メルタン21A※2
4	USボンドA（線状塗布） 0.5kg/m²	仕上材※3
5	BKボードE	—
6	PTクロス（USボンドA0.2kg/m²）	—
7	仕上材	—

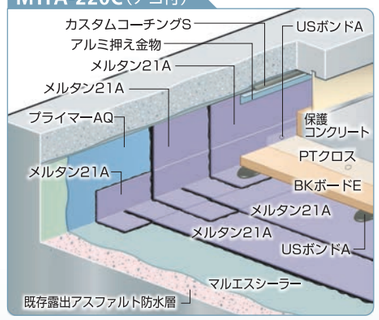
MFA-210C（アゴ付）



MFA-220C（アゴ付）



MTFA-220C（アゴ付）



マルエスシーラー塗布量　★下地の状態によって塗布量は、右記の範囲内とします。　塗布量：0.8kg/m²～1.2kg/m²

仕上材一覧

製品名	PFシステム	トップタイト※	カチトール	ピロブロック	コンクリート
種　類	乾式浮床	アスファルト成形板	砂利まき	コンクリート成型ブロック	コンクリート（モルタル）
仕様記号	PF	T	K	B	C

※「トップタイト」はMFA-110、MFA-120、MTFA-120にのみ適用します。

注意事項

- 気象条件や施工条件によっては、「プライマーAQ」に替えて、「アスファルトプライマー」を使用することもできます。
- 「PFシステム」・「トップタイト」・「ピロブロック」仕上げの場合は、「PTクロス」を省略することができます。
- 入隅部の増張りは、「メルタン21A」に替えて、「SKルーフBFテープ」を使用することもできます。

既存合成高分子防水層

露出仕様　密着工法

MSS-120
複層工法（粘着+トーチ）

下地	合成高分子防水層	
勾配	1/50～1/20	
重量	6.9kg/m²	
厚み	5.0mm	
工程	平　場	立上り
1	USプライマーM2 0.1kg/m²	プライマーAQ 0.2kg/m²
2	SKルーフBF	SKルーフBF
3	メルタンキャップ21A	メルタンキャップ21A
4	仕上塗料	仕上塗料
5	—	—
6	—	—

MSS-220
複層断熱工法（粘着+トーチ）

下地	合成高分子防水層	
勾配	1/50～1/20	
重量	9.3kg/m²	
厚み	5.0mm	
工程	平　場	立上り
1	USプライマーM2 0.1kg/m²	プライマーAQ 0.2kg/m²
2	USボンドA（点貼り） 0.8kg/m²	SKルーフBF
3	シェーンボード	メルタンキャップ21A
4	SKルーフBF	仕上塗料
5	メルタンキャップ21A	—
6	仕上塗料	—

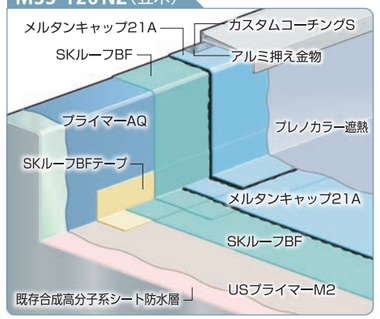
特記事項

「メルタンキャップ21A」に替えて、「メルタンキャップ21F」を使用することもできます。
その際は、仕様記号に F を付けます。

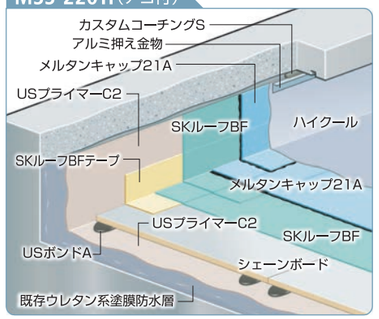
例 **MSS-120F**
複層工法（粘着 +トーチ）

1	USプライマーM2 0.1kg/m²
2	SKルーフBF
3	メルタンキャップ21F
4	仕上塗料

MSS-120 NZ（笠木）



MSS-220 H（アゴ付）



露出仕様　絶縁工法

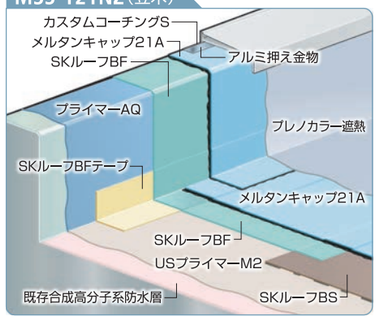
MSS-121
複層工法（粘着+トーチ）

下地	合成高分子防水層	
勾配	1/50～1/20	
重量	7.5kg/m²	
厚み	5.0mm	
工程	平　場	立上り
1	USプライマーM2 0.1kg/m²	プライマーAQ 0.2kg/m²
2	SKルーフBS	SKルーフBF
3	メルタンキャップ21A	メルタンキャップ21A
4	仕上塗料	仕上塗料
5	—	—
6	—	—

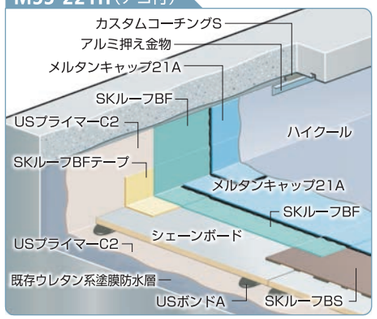
MSS-221
複層断熱工法（粘着+トーチ）

下地	合成高分子防水層	
勾配	1/50～1/20	
重量	9.9kg/m²	
厚み	5.0mm	
工程	平　場	立上り
1	USプライマーM2 0.1kg/m²	プライマーAQ 0.2kg/m²
2	USボンドA（点貼り） 0.8kg/m²	SKルーフBF
3	シェーンボード	メルタンキャップ21A
4	SKルーフBS	仕上塗料
5	メルタンキャップ21A	—
6	仕上塗料	—

MSS-121NZ（笠木）



MSS-221H（アゴ付）



標準仕上塗料（遮熱）

製品名	プレノカラー遮熱	サーモロックカラーMB※	FPクール※	ハイクール
記　号	NZ	MB	FP	H
種　類	カラー遮熱	暗色系カラー遮熱	飛び火抑制・遮熱	高耐候性遮熱
塗布量の目安	0.5kg/m²	0.5kg/m²	0.8kg/m²	0.5kg/m²
塗替の目安	7～9年	7～9年	10～13年	10～13年

■ 弊社製品以外の仕上塗料を塗布した場合は、不具合の発生の恐れがある為、ご注意ください。
※受注生産 納期や条件については、最寄りの営業所にお問い合わせください。

飛び火対応用仕上塗料

製品名	ロッコート※
記　号	R
種　類	飛び火抑制
塗布量の目安	0.8～2.0kg/m²
塗替の目安	7～9年

注意事項

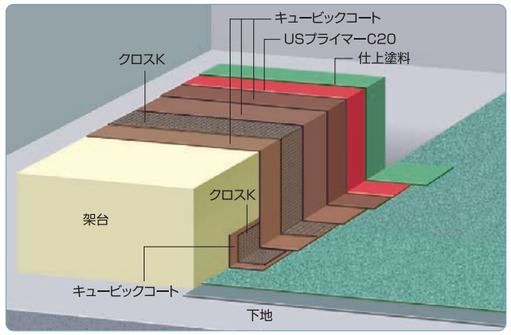
- 気象条件や施工条件によっては、「プライマーAQ」に替えて、「アスファルトプライマー」を使用することもできます。
- 既存防水層がゴムシート防水の場合は、「USプライマーM2」に替えて、「カスタムプライマー（0.2kg/m²）」を使用することもできます。
- 絶縁工法には、「ニューステンレスベント」を50～100m²に1個設置する脱気工法の採用をお勧めします。
- 既存防水層がウレタン系塗膜防水の場合は、「USプライマーM2」に替えて、「USプライマーC2（0.2kg/m²）」を塗布します。
- シェーンボードに浮きが生じた場合は、断熱材の背にカッターを入れてなじませます。
- 部分的に防水層へ保護材を設ける場合（メンテナンス通路等）は、「トップタイト」を使用することができます。

架台回り／公共住宅建設工事共通仕様書　飛び火認定取得仕様

PK-35

部位	架台回り
1	キュービックコート（入隅部増塗り） 0.2kg／m（W＝200）
2	クロスK張付け（入隅部増張り）
3	キュービックコート 1.0kg／m²
4	クロスK張付け
5	キュービックコート 1.0kg／m²
6	キュービックコート 1.0kg／m²
7	USプライマーC20 ※1 0.4kg／m²
8	仕上塗料 ※2

※1 USプライマーC20は、USプライマーC2とポルトランドセメントを重量比1:1の割合で混合したものです。
※2 仕上塗料は、必ずUSプライマーC20（0.4kg／m²）を塗布・乾燥後、翌日以降に施工してください。
（翌日以降に施工しないとブリードする恐れがあります）



キュービックコートは、メルタン21防水材料との接着性に優れた湿気硬化型塗膜防水材です。「架台回り」「複雑部位」「狭所」に併用してご使用ください。

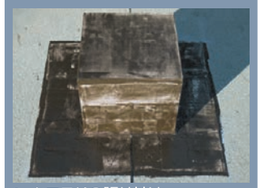
特徴

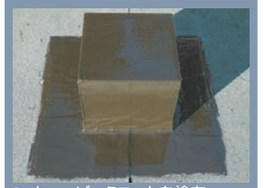
- 1液タイプなので扱いが容易です。
- 無溶剤型で臭いもありません。
- 塗膜の伸びが大きいので、下地の挙動にも追従します。

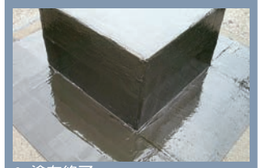


作業手順


1. キュービックコート


2. クロスKの張り付け


3. キュービックコートを塗布


4. 塗布終了

備考

- 開缶後放置すると、硬化が進みますので、速やかに使用してください。
- 表面に皮膜が張った場合は、皮膜を取り除いて使用してください。

標準仕上塗料（遮熱）

製品名	プレノカラー遮熱	サーモロックカラーMB ※	FPクール ※	ハイクール
記　号	NZ	MB	FP	H
種　類	カラー遮熱	暗色系カラー遮熱	飛び火抑制・遮熱	高耐候性
塗布量の目安	0.5kg／m²	0.5kg／m²	0.8kg／m²	0.5kg／m²
塗替の目安	7～9年	7～9年	10～13年	10～13年

■ 弊社製品以外の仕上塗料を塗布した場合は、不具合の発生の恐れがある為、ご注意ください。　※受注生産 納期や条件については、最寄りの営業所にお問い合わせください。

飛び火対応用仕上塗料

製品名	ロッコート ※
記　号	R
種　類	飛び火抑制
塗布量の目安	0.8～2.0kg／m²
塗替の目安	7～9年

令和7年度版 公共住宅建設工事共通仕様書 対応仕様

屋根保護防水密着工法（トーチ工法）

工程	材　料	使用量（kg/m²）	適応製品名
1	プライマー塗り	0.2	プライマーAQ
2	改質アスファルトシート（非露出複層防水用R種 2.5mm以上）トーチバーナーによる張り付け	—	メルタン21A
3	改質アスファルトシート（非露出複層防水用R種 2.5mm以上）トーチバーナーによる張り付け	—	メルタン21A
4	絶縁用シート（注1）	—	PTクロス
5	保護コンクリート（注2）,（注3）	—	別途工事
6	—	—	—

注意 1. 立上りは、絶縁用シートを省略する。　2. 立上り部における保護工法又は露出の種別は、特記による。
3. 保護コンクリートには、溶接金網を敷き込む。

屋根保護防水密着断熱工法（トーチ工法）

工程	材　料	使用量（kg/m²）	適応製品名
1	プライマー塗り	0.2	プライマーAQ
2	改質アスファルトシート（非露出複層防水用R種 2.5mm以上）トーチバーナーによる張り付け	—	メルタン21A
3	改質アスファルトシート（非露出複層防水用R種 2.5mm以上）トーチバーナーによる張り付け	—	メルタン21A
4	断熱材（注1）	—	BKボードE（USボンドA0.5kg）
5	絶縁用シート（注1）	—	PTクロス（USボンドA0.2kg）
6	保護コンクリート（注2）,（注3）	—	別途工事

注意 1. 立上りは、断熱材及び絶縁用シートを省略する。2．立上り部における保護工法又は露出の種別は、特記による。
3. 保護コンクリートには、溶接金網を敷き込む。

飛び火認定取得済みの仕様の概要



飛び火試験に合格し、
国土交通省の個別認定を取得

下表の仕様は、飛び火試験に合格し、飛び火認定を取得しております。ご採用の際には、該当する認定書全文をご請求いただき、認定書通りの施工をしていただきますようお願いいたします。

仕様記号	仕上方法	認定番号	備　考
MSC-221 MSC-321	ロッコート 2.0kg/m²	DR-0894	断熱材厚み：200mm以下 断熱材接着剤：USボンドA（0.8kg/m²以下） プライマー※2：プライマーAQ（0.2kg/m²）又はアスファルトプライマー（0.2kg/m²）
MSC-220 MSC-320 MSC-221 MSC-321 MSC-220F MSC-320F MSC-221F MSC-321F	トップタイト	DR-2007(2)※1	トップタイト張付け：USボンドA（1.5kg/m²以下）又は防水工事用アスファルト（1.5kg/m²以下） 断熱材厚み：400mm以下 断熱材接着剤：USボンドA（1.2kg/m²以下）又は防水工事用アスファルト（1.5kg/m²以下） プライマー※2：プライマーAQ、アスファルトプライマー、速乾プライマー、USプライマーC1、USプライマーC10のいずれか（全て0.2kg/m²）
MSC-220 MSC-320 MSC-221 MSC-321 MSC-220F MSC-320F MSC-221F MSC-321F	FPクール 0.8kg/m²	DR-2084(4)	断熱材厚み：300mm以下 断熱材接着剤：USボンドA（1.5kg/m²以下）又は防水工事用アスファルト（1.5kg/m²以下） プライマー※2：プライマーAQ、アスファルトプライマー、速乾プライマー、USプライマーC1、USプライマーC10のいずれか（全て0.2kg/m²）

共通条件　下地：コンクリート系（RC／SRC／PC／ALC）　勾配：0～30°

※1 DR-2007(2)は、平場において仕上塗料なしでのトップタイト全面張りの場合です。部分張りとする場合には、トップタイトを張らない部分の飛び火認定書も必要となります。
※2 ALCの場合、塗布量は0.4kg／m²とします。
■ その他、詳細については該当する認定書をご確認ください。
■ 陸屋根で木質系セメント系ボード下地をご検討の場合は、弊社営業担当者までご相談ください。

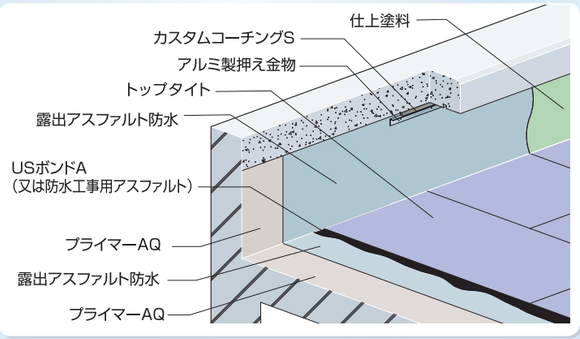
建築基準法では、防火地域、準防火地域内の建築物の屋根において、平成12年建設省告示第1365号により、以下のような構造方法を用いることが定められています。

構　　造：屋根がコンクリート造、PCa、ALCのいずれか、又は耐火構造（国土交通大臣認定含む）
勾　　配：30度以下
断熱材の厚さ：50mm以下、又はなし
防水材の種類：アスファルト防水、改質アスファルト防水、塩化ビニル樹脂系シート防水、ゴム系シート防水、塗膜防水のいずれか

※上記のすべてを満たさない場合は、飛び火認定が必要です。

トップタイト張付け方法

- 施工範囲に墨出しして割付を行う。
- USボンドAで施工する場合は、トップタイト裏面にUSボンドAをコート刷毛を用いて、規定量を塗布する。
- 防水工事用アスファルトで施工する場合は、下地（露出アスファルト防水）に防水工事用アスファルトを規定量塗布しながらトップタイトを張り付ける。
- トップタイト表面を汚さないように注意して張り付け、圧着させる。
- トップタイト同士は、3～5mm程度空けて、千鳥張りで張り付ける。

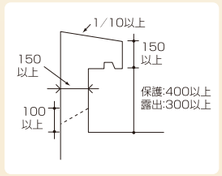


防水下地のチェックポイント

新築工事 チェックポイント

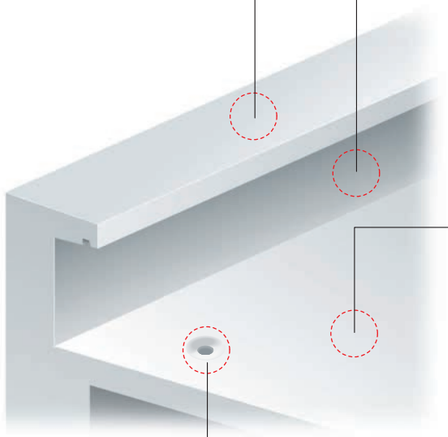
パラペット

- スラブと同時打設を原則とします。打継ぐ場合は、パラペットに接するスラブの水上天端から100mm以上とし、打継面は外勾配とします。
- 立上り厚とアゴの見付厚は150mm以上としダブル配筋とします。
- パラペット天端は1/10以上の水勾配を付けます。
- アゴのある場合は、水上でもスラブ面からアゴ下までを保護工法では400mm以上、露出工法では300mm以上を推奨します。（アゴの無い場合は、内側のパラペット高さ）



勾　配

- 必ず躯体でとります。
- 勾配は1/100～1/20とし、工法により異なります。



立上り

- 立上り面は、コンクリート打放し仕上げを原則とし平滑な面に仕上げます。
- アゴを設ける場合、アゴは躯体と一体打ちとしアゴ上面と躯体が剥離しないようにします。

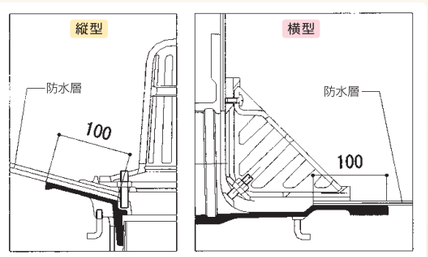
平　場

- 表面にはレイタンス･ジャンカ等の凹凸がないよう平滑な面とします。
- コンクリート下地においては金ゴテ仕上げとします。
- 下地は十分に乾燥させます。

排　水　ルーフドレン

- 防水層施工張り代　100mm

- ルーフドレンの排水分担面積は十分に余裕をもたせます。
- 本体受皿はスラブより30～50mm程度下げます。
- 設置位置はパラペットより300mm程度離して取付けます。



現場打コンクリートの場合のチェックポイント

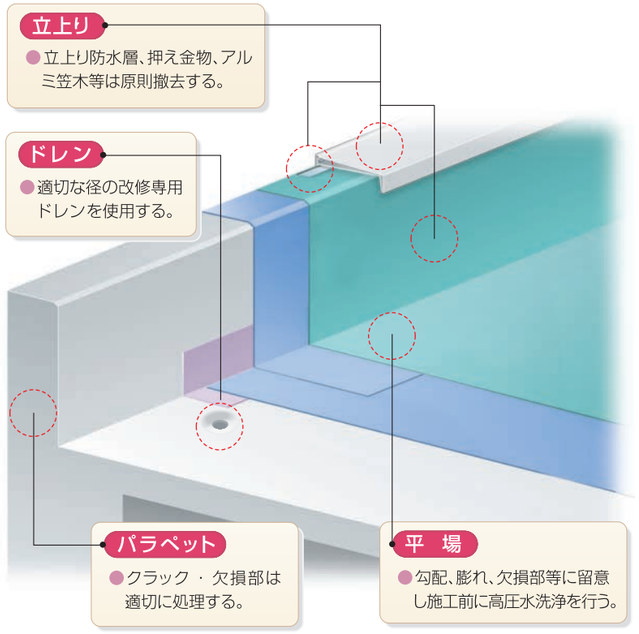
1. 勾配は規定通りになっているか、水溜り部分がないか。
2. 表面は平滑になっているか。
3. ジャンカ等の不良部分及び突起物がないか。
   レイタンス等の脆弱部分がないか。
4. 出入隅部分の形状は規定通りになっているか。
   入隅部は直角とする。
   出隅部は小面取りとする。
5. ルーフドレンの種別は防水工法にあっているか。
6. ルーフドレンの取付け位置は適切か。
7. 下地の乾燥は十分か。

PC・ALC等のパネル類の場合のチェックポイント

1. 勾配は規定通りになっているか、水溜り部分がないか。
2. 継ぎ手部分に段差が生じていないか。
3. 継ぎ手目地部分の充てんモルタルが浮いていないか。
4. パネル類に欠損部がないか。
   取付けボルト等が突出していないか。
5. パネル類は梁･母屋等に堅固に固定されているか。
6. パネル類の表面に離型材等の油脂類が付着していないか。
7. パネル類の表面に脆弱部分がないか。
8. 出入隅部分の形状は規定通りになっているか。
   入隅部は直角とする。
   出隅部は小面取りとする。
9. ルーフドレンの種別は防水工法にあっているか。
10. ルーフドレンの取付け位置は適切か。
11. 下地の乾燥は十分か。

改修工事 チェックポイント

露出防水層の場合



立上り

- 立上り防水層、押え金物、アルミ笠木等は原則撤去する。

ドレン

- 適切な径の改修専用ドレンを使用する。

パラペット

- クラック ・ 欠損部は適切に処理する。

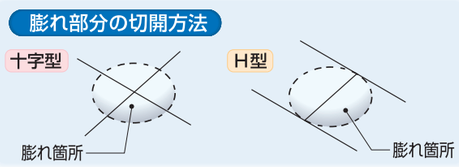
平　場

- 勾配、膨れ、欠損部等に留意し施工前に高圧水洗浄を行う。

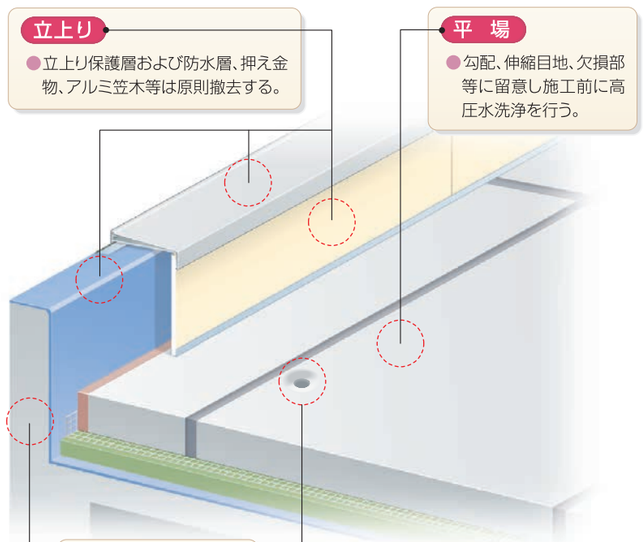
下地が露出防水層の場合のチェックポイント

1. 既存防水層に雨漏りはないか。
   →雨漏りしている場合は、なるべく撤去工法を選択してください。
2. 勾配は規定通りになっているか、水溜り部分がないか。
   →適切な下地調整を行ってください。
3. 高圧水洗浄等で、ホコリや汚れは除去されているか。
4. 膨れ部分の処理は適切か。（下図参照）
5. 防水層欠損部の処理は適切か。
6. ドレンや排水溝回り等の植物の除去は行っているか。
7. パラペットのクラック・欠損部の処理は適切か。
8. 改修用ドレンは専用ドレンが使用されているか。
   （鉛ドレン・銅 ドレン）
9. 立上り部の防水層の処置は適切か。
   （原則として、撤去します）

膨れ部分の切開方法



保護防水層の場合



立上り

- 立上り保護層および防水層、押え金物、アルミ笠木等は原則撤去する。

平　場

- 勾配、伸縮目地、欠損部等に留意し施工前に高圧水洗浄を行う。

パラペット

- クラック･欠損部は適切に処理する。

ドレン

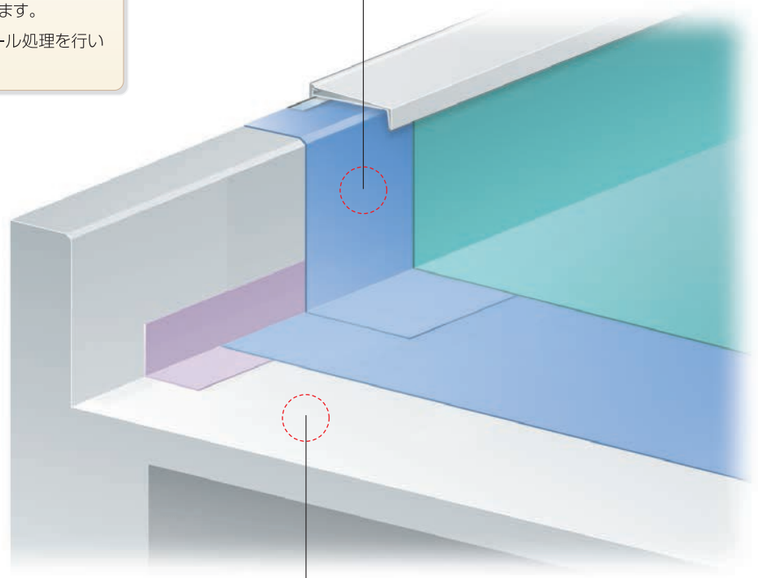
- 適切な径の改修専用ドレンを使用する。

下地が保護防水層の場合のチェックポイント

1. 既存防水層に雨漏りはないか。
   →雨漏りしている場合は、なるべく撤去工法を選択してください。
2. 新規防水層は絶縁工法が採用されているか。
3. 勾配は規定通りになっているか、水溜り部分がないか。
   →適切な下地調整を行ってください。
4. 高圧水洗浄等で、ホコリや汚れは除去されているか。
5. 適切な下地調整が行われているか。
6. 伸縮目地の処理は適切か。
   （撤去してメジテープ等で処理）
7. ドレンや排水溝回り、伸縮目地等の植物の除去は行っているか。
8. 平場及びパラペットのクラック･欠損部の処理は適切か。
9. 改修用ドレンは専用ドレンが使用されているか。
   （鉛ドレン・銅ドレン）
10. 立上り部の防水層の処置は適切か。
    （原則として、保護層および防水層は撤去します）

施工管理のチェックポイント

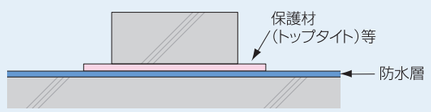
露出仕様 チェックポイント



立上り
- 立上りの高さは水上でも仕上げ面から200mm以上とします。
- 防水層の端末は、シール処理を行います。

平　場
- 下地は十分に乾燥させます。
  絶縁工法の場合は膨れ発生防止のため、脱気筒（ニューステンレスベント）を50～100m²に1個設置します。

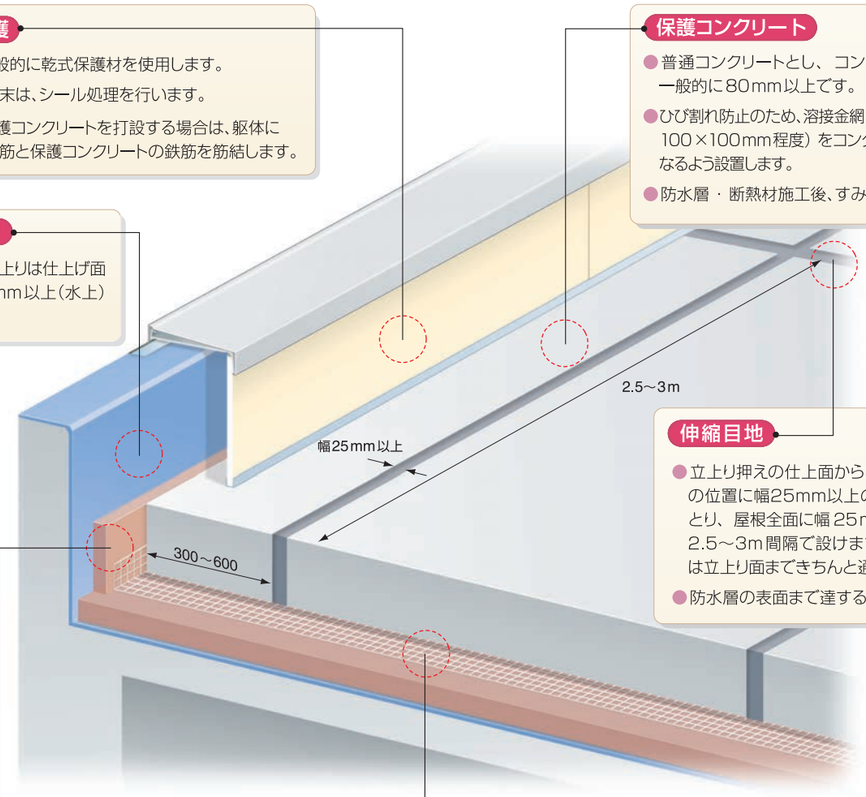
設備等基礎類の設置
- 直接基礎類を設置すると防水層が損傷しますので躯体から立上げるようにします。
- 防水層の上にやむを得ず設置する際には集中荷重にならないよう基礎の設置面積を大きくし、保護材を設けて設置します。



チェックポイント

1. プライマー･接着剤等は十分に撹拌して使用しているか。
2. プライマーは規定量を全面にムラなく塗布しているか。
3. 塗布したプライマーは十分に乾燥しているか。
4. 断熱材を施工する場合、 接着剤は規定通りに塗布しているか。
5. 出入隅及び出入隅角部に、規定の増張りをしているか。
6. ドレン、パイプ回り等に、規定の増張りをしているか。
7. ルーフィング接合部を、逆張りにしていないか。
8. ルーフィング接合部の重ね幅は規定通りになっているか。
9. 張り付けたルーフィングに「しわ・膨れ」等が生じていないか。
10. ルーフィングの下に小石などの異物がないか。
11. 立上りは規定の高さまで施工しているか。
12. 張り仕舞処理は規定通りになっているか。
13. 仕上塗料は規定量を全面にムラなく塗布しているか。

保護仕様 チェックポイント



立上り保護
- 立上りは一般的に乾式保護材を使用します。
- 防水層の端末は、シール処理を行います。

※立上りに保護コンクリートを打設する場合は、躯体に仕込んだ鉄筋と保護コンクリートの鉄筋を筋結します。

立上り高さ
- 防水層の立上りは仕上げ面から200mm以上（水上）とします。

保護コンクリート
- 普通コンクリートとし、 コンクリートの厚みは一般的に80mm以上です。
- ひび割れ防止のため、溶接金網（φ3.2～5.5mm、100×100mm程度）をコンクリート厚の中央となるよう設置します。
- 防水層・断熱材施工後、すみやかに打設します。

伸縮目地
- 立上り押えの仕上面から300～600mmの位置に幅25mm以上のボーダー目地をとり、屋根全面に幅25mm以上の目地を2.5～3m間隔で設けます。また、各目地は立上り面まできちんと通します。
- 防水層の表面まで達するように施工します。

立上り際
- 必ず成形緩衝材を設けます（パラクッション・パラキャント等）

押え層と防水層の絶縁
- 押え層の動きによる防水層や断熱材の損傷を軽減するため、PTクロスを施工します。

チェックポイント

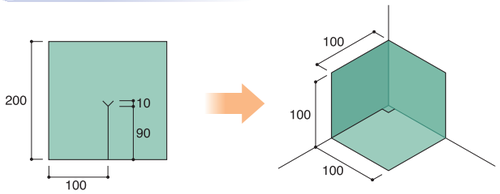
1. プライマー・接着剤等は十分に撹拌して使用しているか。
2. プライマーは規定量を全面にムラなく塗布しているか。
3. 塗布したプライマーは十分に乾燥しているか。
4. 出入隅及び出入隅角部に、規定の増張りをしているか。
5. ドレン、パイプ回り等に、 規定の増張りをしているか。
6. ルーフィングの接合部を、逆張りにしていないか。
7. ルーフィング接合部の重ね幅は、 規定通りになっているか。
8. 張付けたルーフィングに「しわ・膨れ」等が生じていないか。
9. ルーフィングの下に小石などの異物がないか。
10. 立上りは規定の高さまで施工しているか。
11. 張り仕舞処理は、規定通りになっているか。
12. 断熱材を施工する場合、 接着剤は規定通りに塗布しているか。
13. 絶縁用シートは規定通りになっているか。
14. 立上り際に成形緩衝材を施工しているか。

出入隅角部・ALCパネル・パイプ　回り施工方法

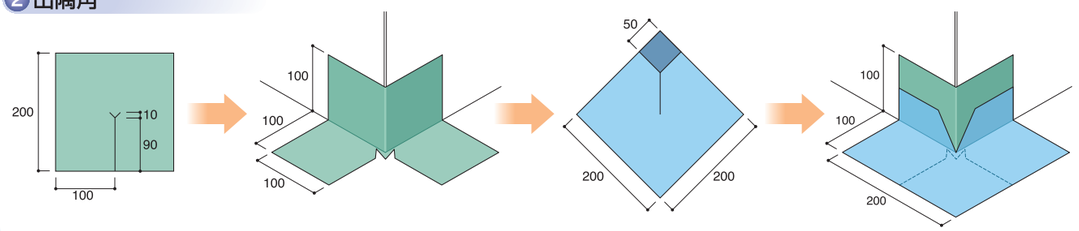
出入隅角・ドレン部等の施工部位には、メルタン21AまたはSKルーフBFテープを使用します。
増張りの処理は、下地面を十分に加熱後、ルーフィング裏面をトーチバーナーを用いて施工します。

出入隅角部

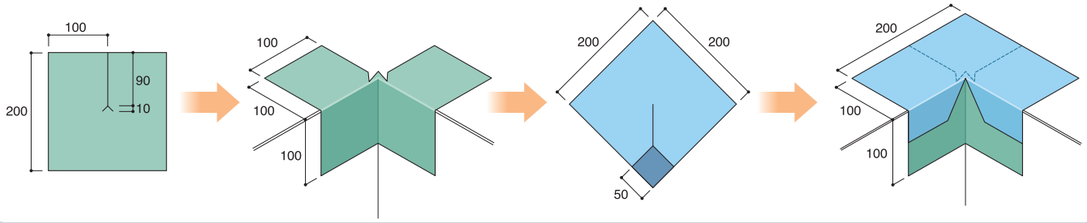
① 入隅角



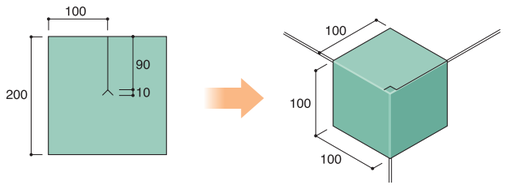
② 出隅角



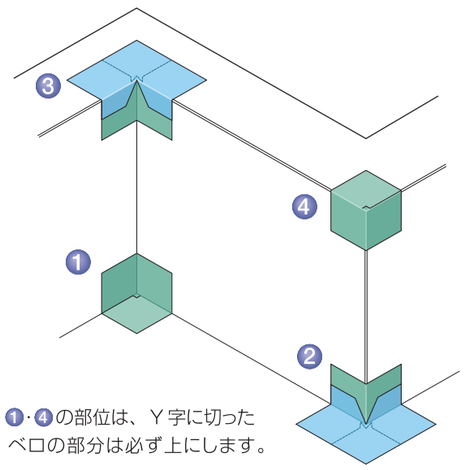
③ 天端入隅角



④ 天端出隅角

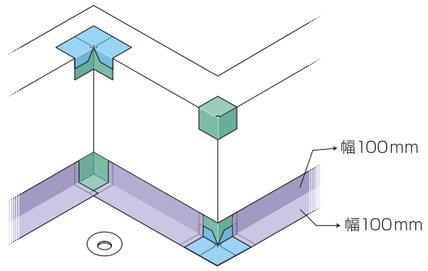


まとめ



①·④の部位は、Y字に切ったベロの部分は必ず上にします。

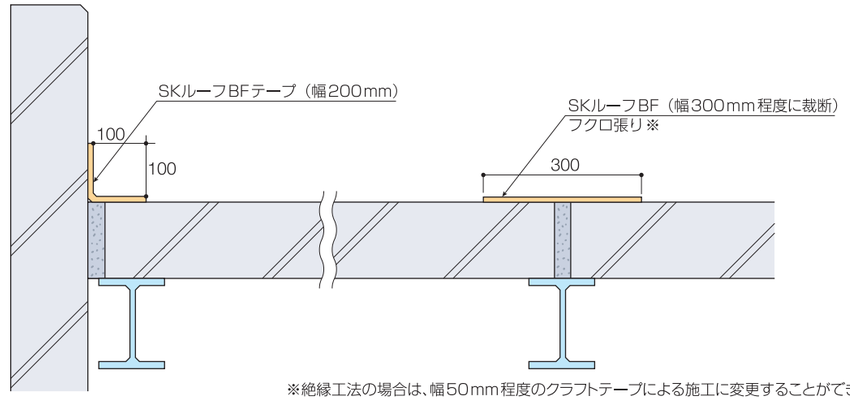
入隅部の施工（平場・立上り部）



① メルタン21A等を200mm幅にカットしたものを入隅部にトーチバーナーを用いて、平場・立上りに均等に振り分けて十分に圧着しながら施工します。

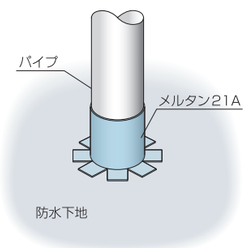
② ステッチャー等を用いて、入隅部が直角となるように施工します。

ALCパネル下地の増張り

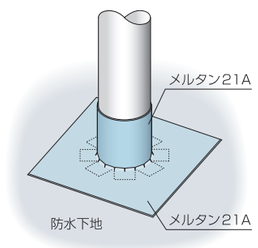


※絶縁工法の場合は、幅50mm程度のクラフトテープによる施工に変更することができます。

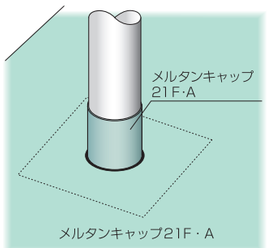
パイプ回りの施工

① 

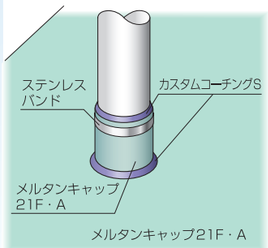
メルタン21A等をパイプ回りと平場に「タコ足」状に張り付けます。

② 

メルタン21A等を角形に裁断し、パイプの径より小さい穴をあけて張り付けます。

③ 

パイプ回りにメルタンキャップ21F·Aを鉢巻状に張り付けます。

④ 

継目及び端末部にカスタムコーチングSを塗り付け端部をステンレスバンド等で固定します。

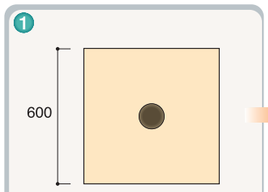
※メルタンキャップ21Aを施工する場合は「工程②」の後、メルタン21A又はSKルーフ類を施工した後「工程③」を行います。

ドレン部の施工及びルーフィングの張 り付け方法

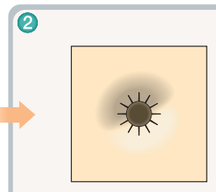
ドレン部の施工

①新築工事の場合

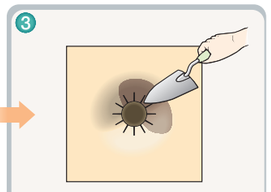
●ドレン回りの増張りには、メルタン21Ａ等を裁断して使用します。＊増張り処理後、冷却時間を置いてから本防水の施工に入ります。
●ドレンのつば及びその周囲をトーチバーナーを用いて施工します。
●カットしたメルタン21Ａにもトーチバーナーを用いて施工します。



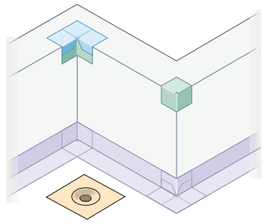
600角程度に裁断したメルタン21Aを、ドレンのつばと下地に張り掛けます。



落ち込んでいるドレンつばへの張り掛けは、温度が下がってから切り込みを入れて一片づつ張り付けます。

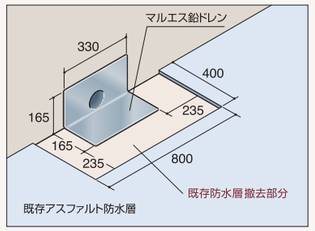


張り付け後、切り込み部分をトーチバーナーで加熱しながら、金ゴテ等で均一にします。



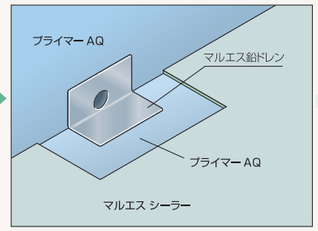
②改修工事の場合

① マルエス鉛ドレン設置



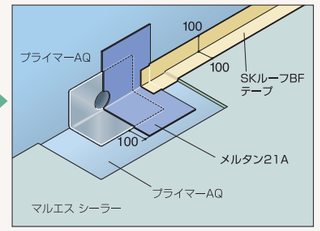
■ドレン回りの防水層を400×800mm程度に撤去する。(立上りは全撤去)
■ドレン部に木槌等を用いて、マルエス鉛ドレンを設置します。

② プライマー類 塗布



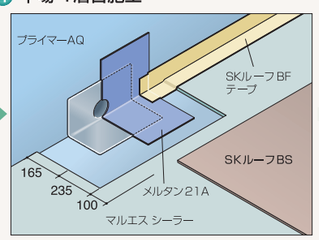
■既存アスファルト防水部にはマルエスシーラーを、撤去部にはプライマーAQを規定量塗布します。

③ 増張り処理



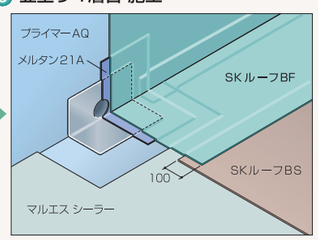
■入隅部にはSKルーフBFテープ等を用いて、平場･立上りに均等100mmづつ張り掛けます。

④ 平場 1層目施工



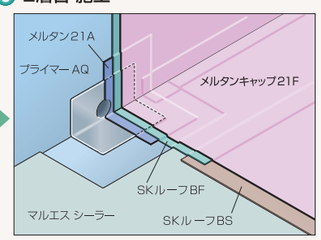
■入隅より500mm程度離した位置からＳＫルーフＢＳを張り付けます。

⑤ 立上り 1層目 施工



■平場に張り付けたSKルーフBSに100mm以上張り掛かるように、SKルーフBFを張り付けます。

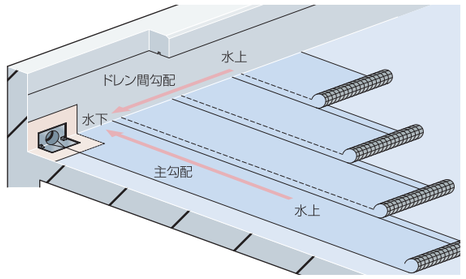
⑥ 2層目 施工



■トーチバーナーを用いてメルタンキャップ類を張り付けます。
■張り付け完了後、端部にカスタムコーチングＳ等を用いてシール処理します。

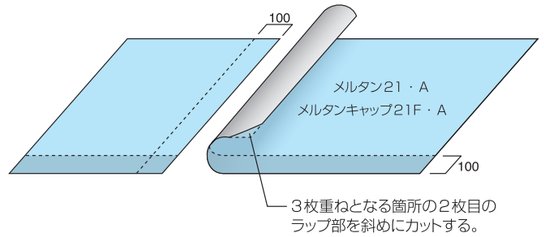
ルーフィングの張り付け方法

①一般部



●ルーフィングの幅方向は水下から水上へ、長手方向は勾配に垂直となるよう張り付けます。
●必ず仮敷きしたルーフィングを巻き戻し、位置決めを行った後に、施工に入ります。
●入隅部に突きつけるようにして、ルーフィングをトーチバーナーを用いて張り付けます。

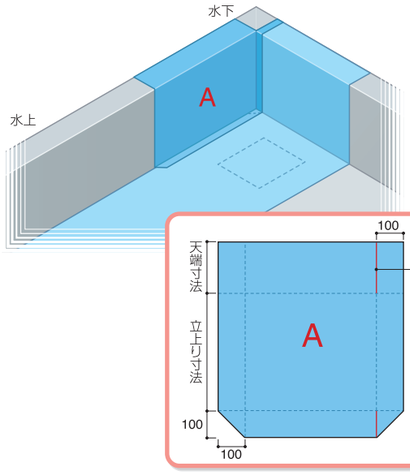
防水シートの重ね方法

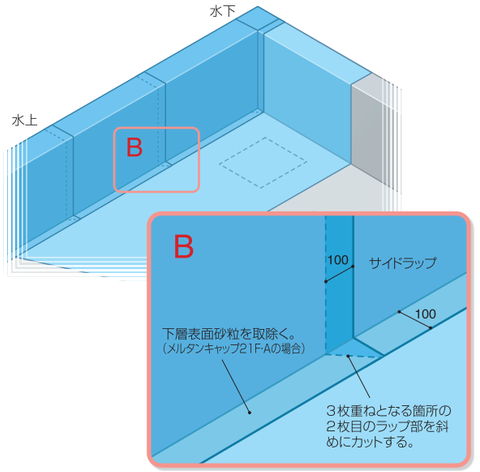


●ルーフィングの重ね幅は長手・幅方向共100mm以上とします。
●エンドラップは下層ルーフィングの砂粒を除去した上で施工します。

②立上り部

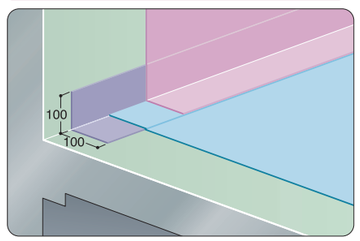
●水下から水上に向かって立上りの施工をします。両勾配の場合は、棟で合わせます。
※立上りの高さが300mm以上の場合は平場と立上りのルーフィングを別張りとすることを推奨します。



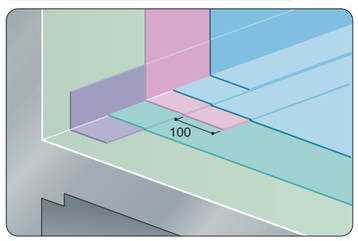


③ルーフィング 平場・立上りの張り合わせ

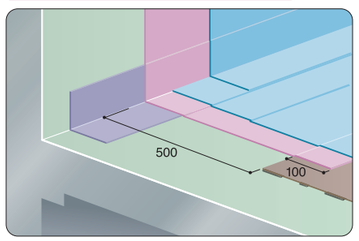
■単層張り工法(密着･絶縁工法の場合)



■複層張り工法(密着工法の場合)



■複層張り工法(絶縁工法の場合)

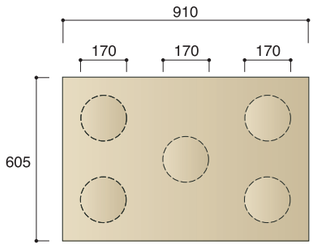


ルーフィング張り付け方法（断熱工法 の場合）

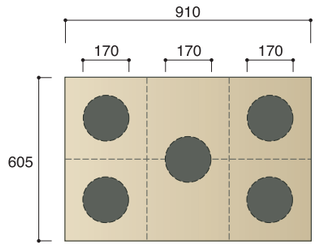
断熱材の張り方　USボンドA塗布

●シェーンボードを張り付けるUSボンドAは下図のように、皮スキ・コテ等を用いて、5点塗布とし、踏圧によりよく圧着します。

表面イメージ

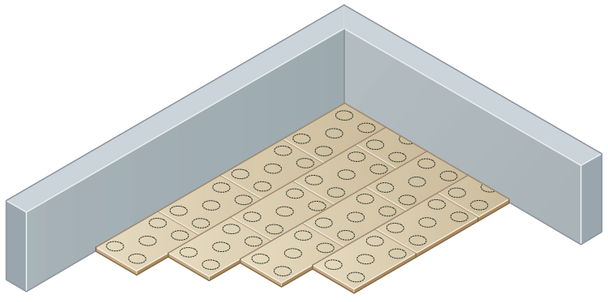


裏面イメージ



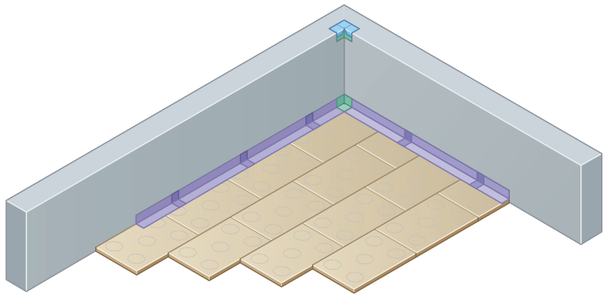
断熱材及びルーフィングの張り方

①断熱材張り付け



●断熱材を入隅部から、千鳥張りとします。
●改修で被せ工法の場合で、入隅部が面取りしている場合は、新設シェーンボードの端部を斜めにカットします。
●下地の凹凸により、なじみの悪い場合はカッター等を用いて背割りを行います。

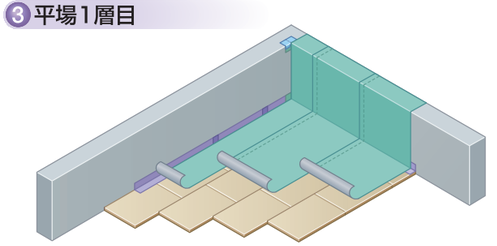
②コーナー部処理



●シェーンボード敷設後、入隅部及び出入隅角部にSKルーフBFテープ等を用いて、増張り処理します。
（詳細は前頁をご参照ください）

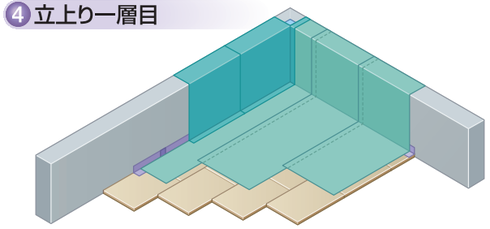
密着工法の場合

③平場1層目



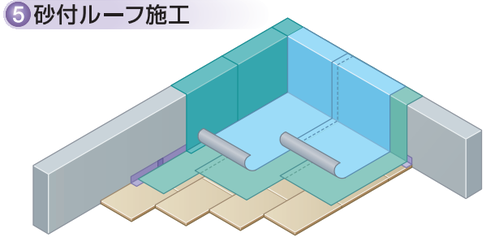
●SKルーフBFは入隅部に突き付けて剥離フィルムを剥がしながら、水下から水上に向かって、下地に張り付けます。尚、立上り部はトーチバーナーを併用しながら施工します。
※起点となる張り始めのSKルーフBFはルーフィングの半切品を用いて施工します。
●SKルーフBFを施工する際は、入隅部はステッチャー等を用いて十分圧着します。

④立上り一層目



●妻側の立上りも同様に、SKルーフBFの剥離フィルムを剥がしながら、水下から水上に向かって、下地に張り付けます。尚、立上り部はトーチバーナーを併用しながら施工します。
●SKルーフBFを施工する際は、入隅部はステッチャー等を用いて十分圧着します。

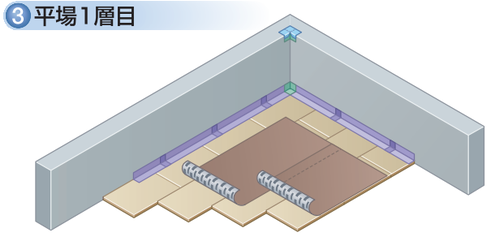
⑤砂付ルーフ施工



●平場のメルタンキャップ類は、入隅部に突き付けてトーチバーナーで裏面及びSKルーフBF表面を十分炙りながら、張り付けます。
●メルタンキャップ類を施工する際は、入隅部はステッチャー等を用いて十分圧着します。
※メルタンキャップ類が下層SKルーフBFと長手方向の張り位置が重ならないようにします。

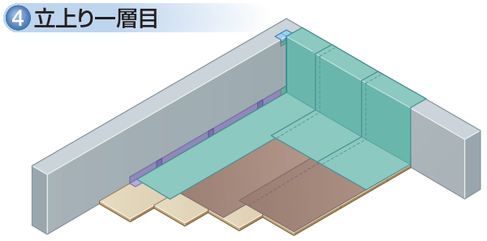
絶縁工法の場合

③平場1層目



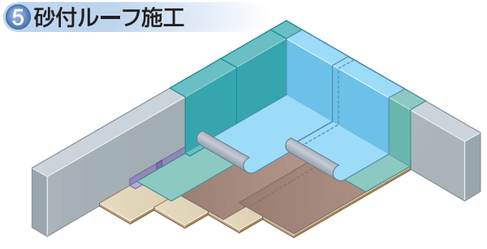
●SKルーフBSは入隅部より500mm程度離した位置を起点として、剥離フィルムを剥がしながら、水下から水上に向かって、下地に張り付けます。
●短辺ジョイントは突き付けて、SKルーフBF（200mm幅）を増張りするか、100mmジョイントを設けて、トーチバーナーを併用しながら、ジョイント重ね部を全面接着とします。

④立上り一層目



●立上りのSKルーフBFは平場のSKルーフBSに100mm以上ジョイントするように、剥離フィルムを剥がしながら、水下から水上に向かって、下地に張り付けます。尚、立上り部はトーチバーナーを併用しながら施工します。※起点となる張り始めのSKルーフBFはルーフィングを700mm程度に裁断したものを用いて施工します。
●SKルーフBFを施工する際は、入隅部はステッチャー等を用いて十分圧着します。

⑤砂付ルーフ施工



●平場のメルタンキャップ類は、入隅部に突き付けてトーチバーナーで裏面及びSKルーフ類表面を十分炙りながら、張り付けます。
●メルタンキャップ類を施工する際は、入隅部はステッチャー等を用いて十分圧着します。
※メルタンキャップ類が下層SKルーフ類と長手方向の張り位置が重ならないようにします。

※立上りの高さが300mm以上の場合は平場と立上りのルーフィングを別張りとします。

防水層の耐風圧性について

屋根面における風圧力

風圧力の計算は、建築基準法施行令第82条の4、平成12年建設省告示第1454号及び第1458号で下記のように定められています。

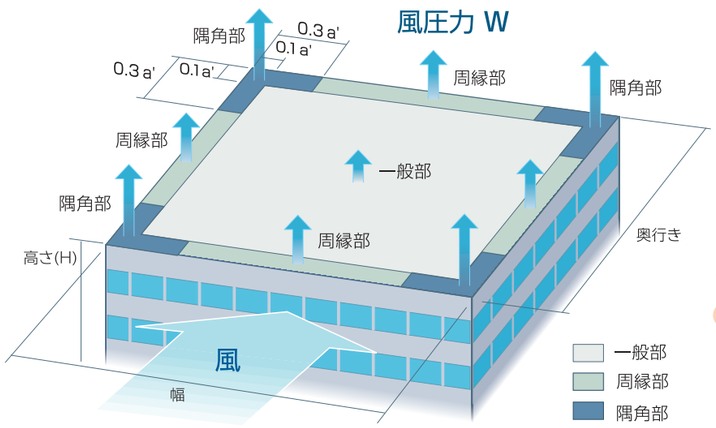
$$W\ (\text{風圧力 N/m}^2) = \bar{q}\ (\text{速度圧 N/m}^2) \times \hat{C}f\ (\text{風力係数})$$

$$\bar{q}\ (\text{速度圧 N/m}^2) = 0.6 \times Er^2 \times Vo^2$$

Er ： 平均速度の高さ方向の分布を表す係数

Vo ： 基準風速

●屋根ふき材用風荷重領域



a'：平面の短辺長さと高さの2倍の数値のうちいずれか小さな数値
（30を超えるときは、30とする。） （単位:m）

●地表面粗度区分

Ⅰ	$Er = 1.7\ (H/250)^{0.10}$
Ⅱ	$Er = 1.7\ (H/350)^{0.15}$
Ⅲ・Ⅳ	$Er = 1.7\ (H/450)^{0.20}$

●地表面粗度区分

Ⅰ 極めて平坦で障害物がないものとして特定行政庁が規則で定める区域

Ⅱ 地表面粗度区分Ⅰ若しくはⅣの区域以外の区域のうち、海岸線若しくは湖岸線（対岸までの距離が1500m以上のものに限る。以下同じ。）までの距離が500m以内の地域（建築物の高さ13m以下である場合又は当該海岸線若しくは湖岸線からの距離が200mを超え、かつ、建築物の高さが31m以下である場合を除く。）又は当該地域外の地域のうち、極めて平坦で障害物が散在しているものとして特定行政庁が規則で定める区域

Ⅲ 地表面粗度区分Ⅰ、Ⅱ又はⅣの区域以外の区域

Ⅳ 都市化が極めて著しいものとして特定行政庁が規則で定める区域

●条件

1. 地表面粗度区分 ── Ⅲとする
2. 建築物所在地 ── 東京都（基準風速: 34m/s）
3. 建築物形状 ── 陸屋根
（片流れ水勾配:1/50 とする）
4. 屋根高さ（軒先高さと棟高さの平均） ── 30m
5. 幅 ── 50m　奥行き ── 25m

屋根高さ H = 30m

$$Er = 1.7(30/450)^{0.20} \fallingdotseq 0.989$$

$$\bar{q} = 0.6 \times Er^2 \times Vo^2 = 0.6 \times (0.989)^2 \times (34)^2 \fallingdotseq 679\ (\text{N/m}^2)$$

一般部	$W = \bar{q} \times \hat{C}f_1 = -2.5 \times 679 \fallingdotseq -1698$	（風力係数 $\hat{C}f_1 = -2.5$）
周縁部	$W = \bar{q} \times \hat{C}f_2 = -3.2 \times 679 \fallingdotseq -2173$	（ $\hat{C}f_2 = -3.2$）
隅角部	$W = \bar{q} \times \hat{C}f_3 = -4.3 \times 679 \fallingdotseq -2920$	（ $\hat{C}f_3 = -4.3$）

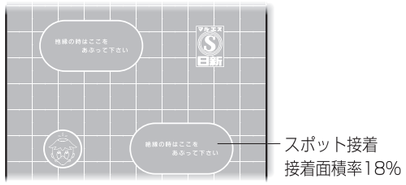
この条件の場合は、最も風圧のかかる部位で 2920N/m² の負圧となりますので、この値を超える固定力が防水層に求められることになります。

耐風性の検証

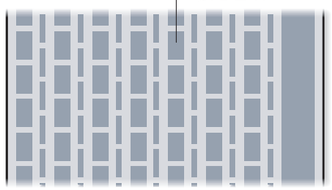
■試験条件　引張速度： 50 mm／min　　測定温度： 0, 20, 40, ±2 ℃

■接着面積

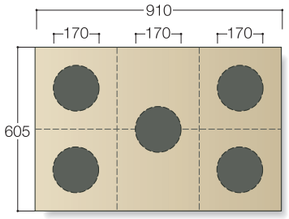
メルタン21（A）及びメルタンキャップ21F



SKルーフBS



シェーンボード（接着面積 20%）



■試験結果

測定温度 [℃]	接着強さ [N/cm²]						
	下地(プライマー)／カスタムM	カスタムM(USボンドA)／シェーンボード	下地USボンドA)／シェーンボード	シェーンボード／SKルーフ類	下地(プライマー)／メルタンキャップ類	下地(プライマー)／SKルーフ類	SKルーフ類／メルタンキャップ類
0	96.7	14.9	20.0	68.2	82.2	70.6	88.2
20	51.7	17.0	20.6	33.1	80.2	41.2	55.9
40	19.5	9.0	21.0	13.6	23.8	22.5	29.4
接着面積	100%	20%	20%	56%1 00%	18%1 00%	56%100%	100%
最低値	19.5	1.8	4.0	7.6	4.2	12.6	29.4

●「メルタン21防水工法」全工法の中で接着強さの最低値は「1.8N/cm²（18000N/m²）」です。

●工事安全率を0.6とすると、接着面積は 0.2×0.6 =0.12（m²/m²）

●接着強度を9.0（N/cm²：40℃）とした場合 0.12 ×9.0 =1.08（N/cm²）
=10800（N/m²）

●強度安全率は、**最大風圧力**：−2920（N/m²）より接着強度と比較して
10800 ÷ 2920 ≒ 3.69　故に**安全率は** 3.6となる

■高さ30mでの耐風性

風速 (m/s)	粗度区分	屋根部位			安全率
		一般部	周縁部・棟端部	隅角部	
34	Ⅰ	−3279	−4198	−5640	1.9
	Ⅲ	−1698	−2173	−2920	3.6
46*	Ⅰ	−6003	−7683	−10325	1.0
	Ⅲ	−3105	−3974	−5341	2.0

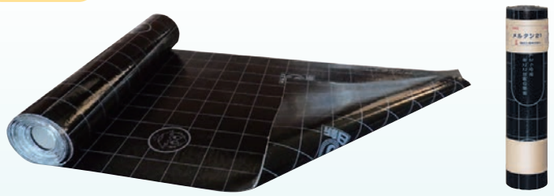
＊沖縄地方を想定

■風速34m／s の場合

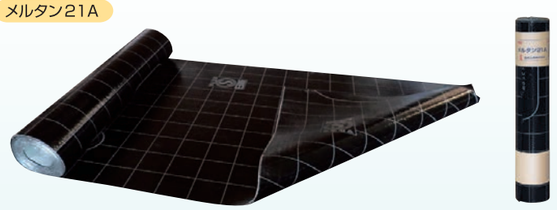
高さ (m)	粗度区分	屋根部位			安全率
		一般部	周縁部・棟端部	隅角部	
15	Ⅰ	−2855	−3654	−4910	2.1
	Ⅲ	−1286	−1646	−2211	4.8
45	Ⅰ	−3556	−4552	−6117	1.7
	Ⅲ	−1995	−2554	−3431	3.1

非露出単層防水用R種 メルタン21 ／ 非露出複層防水用R種 メルタン21A

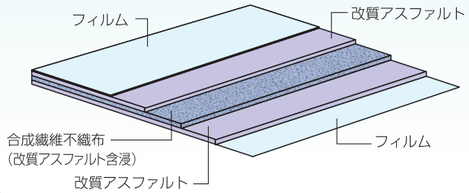
メルタン21



メルタン21A



合成繊維不織布を基材に改質アスファルトを含浸・被覆したJIS A 6013に適合する改質アスファルトルーフィングです。
メルタン21は単層保護工法にメルタン21Aは複層工法の上層・下層用、出入隅角部の増張り等に使用し、トーチバーナーでルーフィング裏面を溶融し施工します。



	メルタン21	メルタン21A
幅（m）	1	1
長さ（m）	8	8
厚さ（mm）	4.0	2.5
重量（kg）	36	23

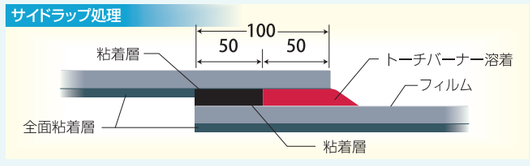
非露出複層防水用R種 SKルーフBF ／ 非露出複層防水用R種 SKルーフBS

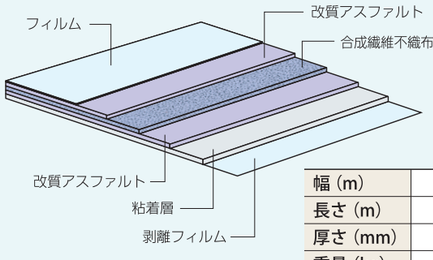
合成繊維不織布を基材に改質アスファルトを含浸・被覆した JIS A 6013に適合する粘着付改質アスファルトルーフィングです。
SKルーフBFは密着複層工法の下層にSKルーフBSは絶縁複層工法の下層に使用します。下地に対しては粘着で施工し、ラップ部は トーチバーナーで溶融し施工します。

SKルーフBF



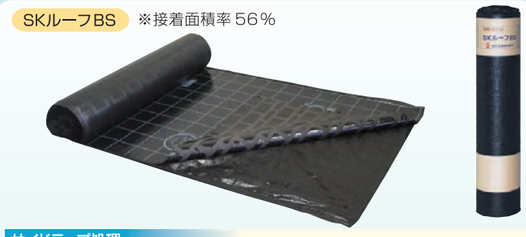
サイドラップ処理



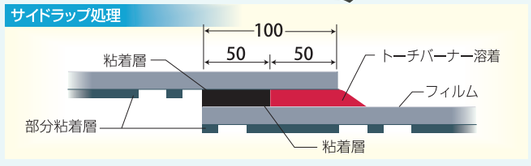


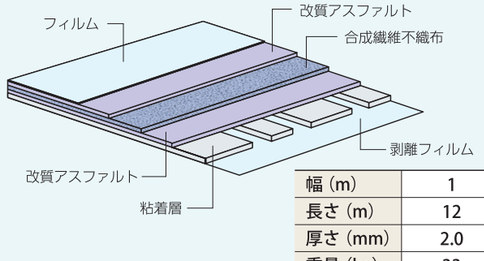
幅（m）	1
長さ（m）	12
厚さ（mm）	2.0
重量（kg）	27

SKルーフBS ※接着面積率 56％



サイドラップ処理





幅（m）	1
長さ（m）	12
厚さ（mm）	2.0
重量（kg）	33

露出単層防水用R種 メルタンキャップ21F ／ 露出複層防水用R種 メルタンキャップ21A

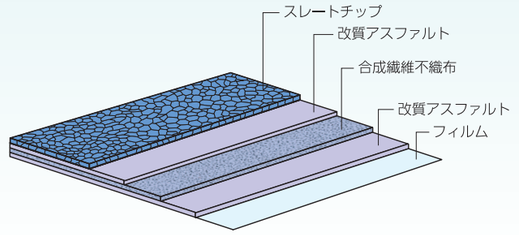
メルタンキャップ21F



メルタンキャップ21A



合成繊維不織布を基材に改質アスファルトを含浸 ・ 被覆したJIS A 6013に適合する砂付改質アスファルトルーフィングです。メルタンキャップ21Fは単層露出工法にメルタンキャップ21Aは複層露出工法の最上層に使用し、 トーチバーナーでルーフィング裏面を溶融し施工します。



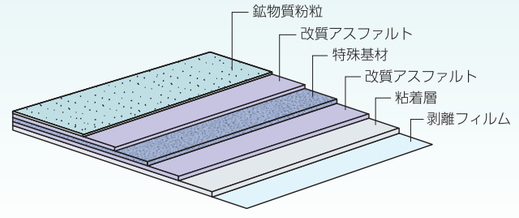
	メルタンキャップ21F	メルタンキャップ21A
幅（m）	1	1
長さ（m）	8	8
厚さ（mm）	4.0	3.0
重量（kg）	38	30

カスタムM

カスタムM



ルーフィングの裏面に粘着層を設けた防湿層のルーフィングです。
露出断熱仕様の防湿層として使用します。



幅（m）	1
長さ（m）	16
厚さ（mm）	1.0
重量（kg）	21

SKルーフBFテープ



合成繊維不織布を基材に改質アスファルトを含浸・被覆した粘着層付改質アスファルトルーフィングで、入隅部等の増張りに使用します。

幅（cm）	20
長さ（m）	12
厚さ（mm）	2.0
重量（kg）	10.8
梱包	2巻入

プライマー／仕上塗料／接着剤／下地　調整材

プライマー

プライマーAQ



アスファルトをベースとした水性系アスファルトプライマーです。

■規 格：16kg／缶

アスファルトプライマー



アスファルトをベースとした溶剤系プライマーです。
寒冷地などに使用します。

■規 格：15kg／缶
（第四類第二石油類）

速乾プライマー



ゴムアスファルトをベースとした、屋外専用の溶剤系プライマーです。

■規 格：15kg／缶

F☆☆☆☆

USプライマーC2



既存下地がウレタン系塗膜防水層である場合に使用する溶剤系プライマーです。

■規 格：16kg／缶（第四類第一石油類）

F☆☆☆☆

USプライマーM2



既存下地が合成高分子系シート防水層である場合に使用する溶剤系プライマーです。

■規 格：0.5kg／缶、17kg／缶
（第四類第一石油類）

標準仕上塗料（遮熱）

グリーン購入法適合

プレノカラー遮熱

遮熱効果を持つ水性アクリル系カラー塗料です。
防水層を紫外線から保護すると共に、熱的劣化を抑制することができます。



ライトグレー　シルバーグレー　ミドルグレー

■規 格：16.3kg／缶
塗布量の目安：0.5kg／m²
塗替の目安：7～9年

グリーン購入法適合

サーモロックカラーMB

明度を下げた遮熱効果を持つ暗色系水性アクリル系カラー塗料です。照り返しの眩しさが気になる屋根や、従来の塗料では意匠的に明るすぎると感じる屋根に最適です。



※受注生産

グレー　グリーン　アッシュグリーン
トープ　レンガ　ブラウン

■規 格：16.3kg／缶
塗布量の目安：0.5kg／m²
塗替の目安：7～9年

グリーン購入法適合

FPクール

遮熱効果と飛び火抑制機能を併せ持つ水性アクリル系カラー塗料です。
防水層の熱的・紫外線劣化を抑制し、飛び火などによる延焼を抑制することができます。



※受注生産

ホワイト　ライトグレー　ライトグリーン

■規 格：18kg／缶
塗布量の目安：0.8kg／m²
塗替の目安：10～13年

グリーン購入法適合

ハイクール

高い遮熱効果と耐候性を併せ持つ水性アクリルシリコン系カラー塗料です。
日射反射率が高く、防水層の熱的・紫外線劣化を抑制することができます。



ホワイト　ミドルグレー　ライトグリーン

■規 格：16kg／缶
塗布量の目安：0.5kg／m²
塗替の目安：10～13年

飛び火対応用仕上塗料

ロッコート



合成樹脂、無機難燃化剤等を主成分とする水性カラー塗料です。
防水層の劣化を防ぐだけでなく、飛び火などによる延焼を抑制することができます。※受注生産

ミドルグレー　ライトグリーン

■規 格：20kg／缶
塗布量の目安：0.8～2.0kg／m²
塗替の目安：7～9年

※受注生産 納期や条件については、最寄りの営業所にお問い合わせください。　注：色見本は印刷物ですので、現物の色調とは若干異なる場合があります。

接着剤

F☆☆☆☆

USボンドA



1液型のアスファルト系接着剤です。
断熱材等の張り付け等に使用します。

■規 格：20kg／缶、10kg／缶
330mLカートリッジ24本／箱入

F☆☆☆☆

USボンド



2成分無溶剤型ウレタン系接着剤です。

■規 格：10kg／セット
主 剤：2kg・硬化剤：8kg

下地調整材（詳細は「下地調整材」専用カタログをご参照ください）

マルエスシーラー

既存下地がアスファルト防水層である場合に使用する溶剤系のアスファルト系下地調整材です。



■規 格：20kg／缶（第四類第二石油類）

AQシーラー

既存下地がアスファルト防水層である場合に使用する水性のアスファルト系下地調整材です。
2.0kg/m²で塗布した場合、一時的な仮防水に使用できます。※



■規 格：A材（17kg／缶） B材（18kg×2袋）

ニューセッターボードA

無機質系充填材を混入したアスファルト系マスチックパネルです。



■規 格：900mm×1000mm
厚さ：4mm

フィットエポ #10

コンクリート面に対して高い接着力を持つセメント系下地調整材です。
3mm厚で塗布した場合、一時的な仮防水に使用できます。※



■規 格：主　剤（4kg） 硬化剤（4kg）　粉　体（13kg×2袋）

フィットリーチ

硬化体は耐溶剤性に優れ、ウレタン防水・シート防水に適した下地調整材です。
2mm厚で塗布した場合、一時的な仮防水に使用できます。※



■規 格：主　剤（25kg）　混和液（4kg）

ショウテック早強 #200



既存パラペット等の緊急補修用に開発された急結高強度無収縮既調合モルタルです。

■規 格：混合剤（4kg・18kg／缶）
粉　体（25kg／袋）

フィットネオ



1液のアクリル系下地調整材です。
1.0kg/m²以上塗布した場合、一時的な仮防水に使用できます。※

■規 格：16kg／缶

※ピンホールが生じた場合や、下地の動きや落下等でひび割れが発生した場合、塗布量が規定より少ない場合は、仮防水の性能はありません。

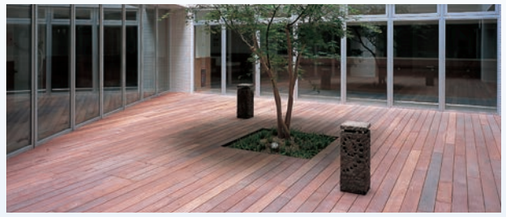
仕上材／断熱材／改修用ドレン

仕上材

PFシステム 乾式浮床システム

高さを自由に変えられるPFスタンドとコンクリート成型板などを組み合わせ防水層を保護すると同時に、段差のないバリアフリースペースを設ける工法です。

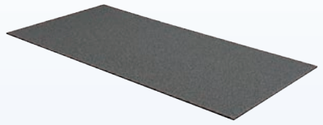




※詳細は、「PFシステム」カタログをご参照ください。

トップタイト アスファルト成形板

補強材を付与したアスファルト成形板で、 表面に化粧砂粒を圧着したものです。防水層の上に直接貼り付ける簡単な施工方法で、防水層の耐久性を向上させると共に軽歩行用途に適しています。
（保護塗料の塗布・乾燥後に施工してください）



寸 法 (m)	1.0×0.5
厚 さ (mm)	6.0
質 量 (kg)	5.1



※詳細は、「アスファルト防水の仕様」カタログをご参照ください。
※時期や枚数により、納期に時間をいただく場合があります。

カチトール 砂利まき樹脂固定工法

防水層またはUSD工法の断熱材の上に、約30mmの厚さに敷き並べた砂利を特殊エマルジョンを用いて砂利相互を接着固定します。
（非歩行）
※受注生産



※詳細は、「カチトール砂利まき工法」カタログをご参照ください。

ピロブロック コンクリート成型ブロック

防水層の上に、またはUSD工法の断熱材の上にコンクリート成型ブロック(ピロブロック)を敷き並べる仕上げ工法です。（非歩行）



寸 法 (m)	0.45×0.45／枚
厚 さ (mm)	25
質 量 (kg)	11

※詳細は、「アスファルト防水の仕様」カタログをご参照ください。

断熱材（ノンフロン）

シェーンボード 硬質ウレタン系断熱材 グリーン購入法適合

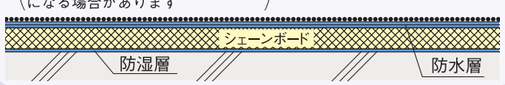


フロンを使用しないで製造した硬質ウレタン系断熱材で耐熱性に優れており、断熱露出防水工法に使用します。

※JIS A 9521（建築用断熱材）硬質ウレタンフォーム断熱材2種1・2号の透湿係数を除く規格に適合します。

寸 法 (mm)	605×910					
厚 さ (mm)	25	30	35	40	50	60※
梱包単位 (枚)	20	15	15	10	10	8

※受注生産
（地域によっては寸法が605×830mmになる場合があります）



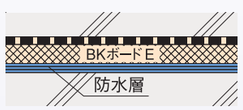
BKボードE 押出成形ポリスチレン系断熱材 グリーン購入法適合

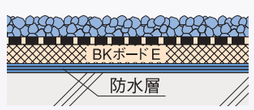


押出成形ポリスチレン系断熱材です。水蒸気透過性が極めて小さいので、断熱材を防水層の上に設ける断熱保護防水工法（USD工法）に使用します。

※JIS A 9521（建築用断熱材）押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bAの認定品です。

寸 法 (mm)	910×910
厚 さ (mm)	25, 30, 35, 40, 50, 60（受注生産）



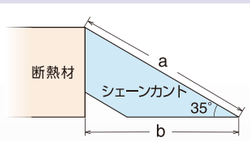


シェーンカント

断熱露出工法のドレン部等に使用するキャント材です。

長 さ	910mm

断熱材対応厚さ	a	b	梱包
30mm	52mm	43mm	40本入
35mm	61mm	50mm	30本入
40mm	70mm	57mm	24本入
50mm	87mm	71mm	16本入
60mm	105mm	86mm	10本入

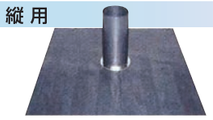


※受注生産 納期や条件については、最寄りの営業所にお問い合わせください。

改修用ドレン

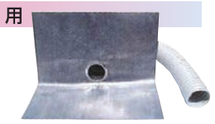
マルエス鉛ドレンM

縦 用



■外寸法：330mm×330mm
×(H)150mm
■板 厚：1.5mm

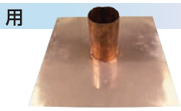
横 用



■外寸法：330mm×330mm
■ホース長：500mm
■板 厚：1.5mm

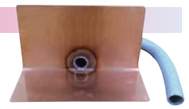
マルエス銅ドレン

縦 用



■外寸法：365mm×365mm
×(H)150mm
■板 厚：本体部0.5mm
筒 部0.7mm

横 用



■外寸法：365mm×365mm
■ホース長：600mm
■板 厚：本体部0.5mm
筒 部0.7mm

縦 用	呼 称	内 径 (mm)	外 径 (mm)	許容最大屋根面積 (m²)
鉛ドレンM	φ40	34	37	23.9
	φ50	43	46	44.7
	φ60	52	55	74.3
	φ70	60	63	108.8
	φ80	72	75	176.9
	φ90	84	87	266.8
	φ100	92	95	340.1
銅ドレン	φ75	56.6	58.0	93.1
	φ100	78.1	79.5	219.7

横 用	呼 称	ドレン内径 (mm)	ジャバラ内径 (mm)	ジャバラ外径 (mm)	許容最大屋根面積 (m²) 配管こう配 1/25	1/50	1/75	1/100
鉛ドレンM	φ50	34	38.2	44.5	24.4	–	–	–
	φ60	43	50.8	57.8	45.6	32.2	–	–
	φ75	60	63.5	71.2	110.8	78.3	64.0	–
	φ90	72	76.2	84.6	180.2	127.4	104.0	90.1
	φ100	84	88.9	97.7	271.8	192.2	156.9	135.9
	φ125	92	101.3	110.5	346.4	244.9	200.0	173.2
銅ドレン	φ75	60.8	63.5	72.6	114.8	81.2	66.3	57.4
	φ100	73.4	76.2	85.8	189.7	134.1	109.5	94.8

※【SHASE-S 206-2019 給排水衛生設備基準・同解説】 4. 雨水排水管径の決定により算出（許容最大屋根面積は、雨量100mm/hを基礎として算出しているもので、流速が0.6m/s 未満または1.5m/s を超えるものは好ましくないので除外（–を記入））

マルエスアルミドレンキャップ

■縦・大



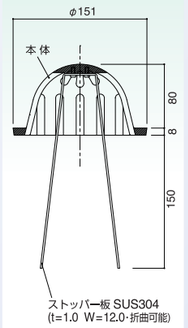
適用径 φ50～100

■縦・小



適用径 φ30～75

マルエスドレンキャップ・縦（鉄鋳物）



適用径 φ50～110

マルエスアルミドレンキャップ

■横・中・自在



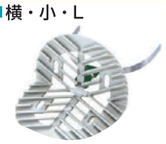
適用径 φ50～100

■横・小・平



適用径 φ40～65

■横・小・L



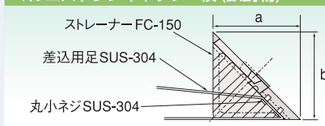
適用径 φ40～65

■横・大・自在



適用径 φ75～150

マルエスドレンキャップ・横（鉄鋳物）



	適用径	a	b
標準	φ50～100	97	97
大	φ100～125	110	125

NSハイパドレン 非挿入型固定方式と飛散防止機構を備えた改修ドレン（全国防水リフレッシュ連合会専用品）

■本体



■キャップ



	呼 称	内径(mm)	外径(mm)
HDタテ30	φ30	27.2	28.0
HDタテ40	φ40	37.2	38.0
HDタテ50	φ50	47.2	48.0
HDタテ60	φ60	57.2	58.0
HDタテ70	φ70	67.2	68.0
HDタテ75	φ75	72.2	73.0
HDタテ80	φ80	77.2	78.0
HDタテ90	φ90	87.2	88.0
HDタテ100	φ100	97.2	98.0
HDタテ120	φ120	117.2	118.0

	呼 称	内径(mm)	外径(mm)	ホース長
HDヨコ40	φ40	32.4	38.6	400
HDヨコ50	φ50	37.3	44.5	400
HDヨコ60	φ60	50.6	59.8	400
HDヨコ75	φ75	62.4	71.6	600
HDヨコ90	φ90	76.4	86.4	600
HDヨコ100	φ100	88.9	99.5	600
HDヨコ120	φ120	101.6	112.2	600

■縦 型：300mm×300mm 2個／箱
■横 型：φ40～60 300mm×300mm 2個／箱
φ75～120 400mm×400mm 2個／箱

水切金物

マルエスアルミ水切

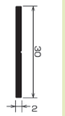
製品記号の見方

マルエス水切	形状－1	形状－2		縦寸法	横寸法	厚み	形状－3
M	L		－	30	10	A	
	F：フラット L：L型 K：壁用 T：天端用	N：返し無し I：イ型金物			L型のみに適用	A：1.2mm B：1.5mm C：1.8mm D：2.0mm 上記以外 BC：1.7mm	MT（天端）のみに適用 S：外（はね出し） U：内（巻き込み）

※アルミ水切はMT-61BS直線を除き、全てビス穴無しで納材されます。ビス穴が必要な場合は40頁「製品発注に関する注意事項」をご参照ください。

●MF（フラット）

MF-30D



■ 規格

30mm×2m
t=2.0mm

MF-34B



■ 規格

34×6.5mm×2m
t=1.5mm

●ML（L型）

ML-3010A



■ 規格

30×10mm×2m
t=1.2mm

ML-3010B



■ 規格

30×10mm×2m
t=1.5mm

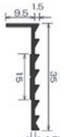
ML-3015D



■ 規格

30×15mm×2m
t=2.0mm

ML-3511A



■ 規格

35×11mm×2m
t=1.2mm

ML-4010A



■ 規格

40×10mm×2m
t=1.2mm

ML-4010D



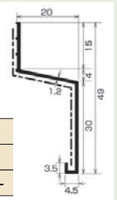
■ 規格

40×10mm×2m
t=2.0mm

●MK（壁用水切）

MKN-49A

ジョイント板別途（曲げ材）
出隅・入隅（200×200）
エンドキャップあり

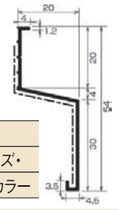


■ 規格

2m　t=1.2mm
色　シルバー・ブロンズ・ブラック・ステンカラー

MK-54A

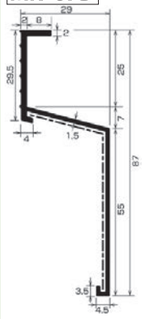
ジョイント板別途（曲げ材）
出隅・入隅（200×200）
エンドキャップあり



■ 規格

2m　t=1.2mm
色　シルバー・ブロンズ・ブラック・ステンカラー

MK-87B

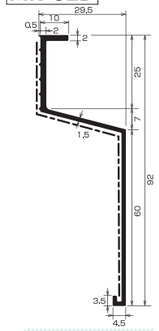


ジョイント板別途（曲げ材）
出隅・入隅（300×300）
エンドキャップあり

■ 規格

2m　t=1.5mm
色　シルバー・ブロンズ・ステンカラー

MK-92B

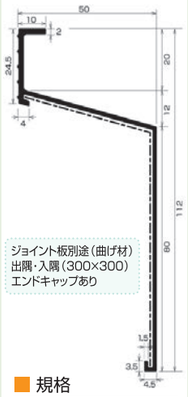


ジョイント板別途（曲げ材）
出隅・入隅（300×300）
エンドキャップあり

■ 規格

2m　t=1.5mm
色　シルバー・ブロンズ・ブラック・ステンカラー

MK-112B



ジョイント板別途（曲げ材）
出隅・入隅（300×300）
エンドキャップあり

■ 規格

2m　t=1.5mm
色　シルバー

MKN-82A

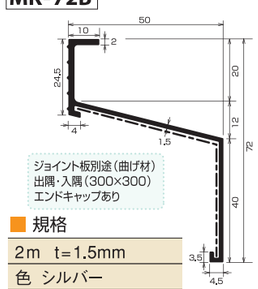


ジョイント板別途（曲げ材）
出隅・入隅（300×300）
エンドキャップあり

■ 規格

2m　t=1.2mm
色　シルバー・ブロンズ・ブラック・ステンカラー

MK-72B



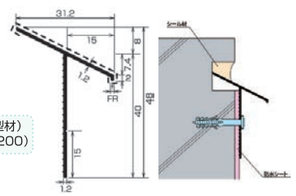
ジョイント板別途（曲げ材）
出隅・入隅（300×300）
エンドキャップあり

■ 規格

2m　t=1.5mm
色　シルバー

●MK（壁用特殊）

MKI-48A



■ 規格

2m　色　シルバー

● 参考（プラグビス）

打ち込み式　セルボ



■ 規格

SELBO：5×36

ねじ込み式　フィッシャープラグ



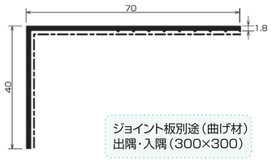
■ 規格

SWL：6×50 ・ SWL：6×60

マルエスアルミ水切金物の取付用アンカープラグビスには、セルボ（SELBO5×36）・フィッシャープラグ（SWL6×50、SWL6×60）の皿ビス・ステンレス製の使用をお勧めします。

●MT（天端用）

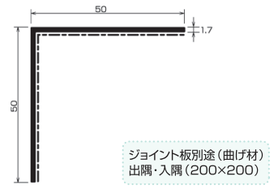
MT-40C



■ 規格

40×70mm×2m　t=1.8mm
色　シルバー・ブラック

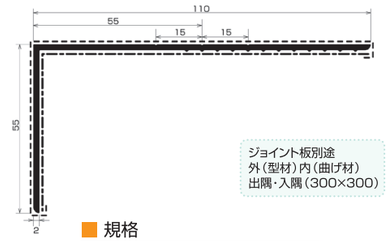
MT-50BC



■ 規格

50×50mm×2m　t=1.7mm
色　シルバー

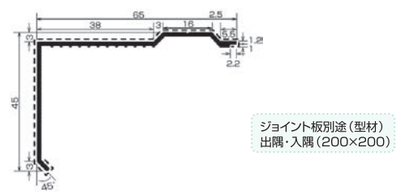
MT-55D



■ 規格

55×110mm×2m　t=2.0mm
色　シルバー

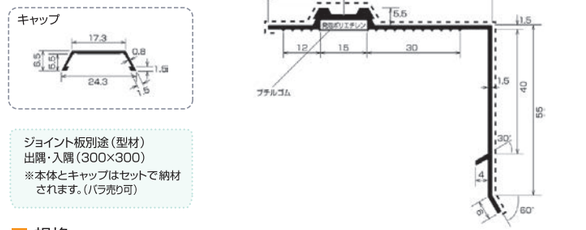
MT-42BU



■ 規格

42×65mm×2m　t=1.5mm
色　シルバー

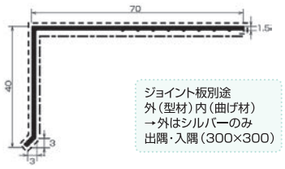
MT-61BS



■ 規格

61×72.5mm×2m　t=1.5mm
色　シルバー　直線はビス穴有品のみ（φ6、8穴、50端）

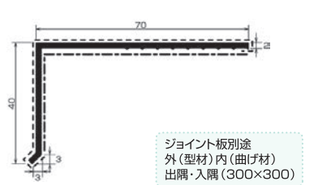
MT-40BS



■ 規格

40×70mm×2m　t=1.5mm
色　シルバー・ブロンズ・ブラック・ステンカラー

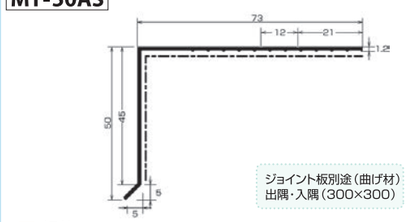
MT-40DS



■ 規格

40×70mm×2m　t=2.0mm
色　シルバー

MT-50AS



■ 規格

50×73mm×2m　t=1.2mm
色　シルバー

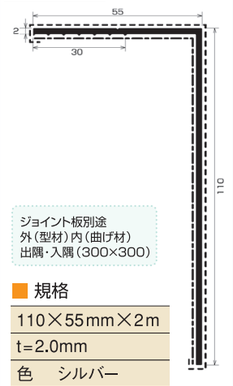
MT-70BS



■ 規格

70×100mm×2m　t=1.5mm
色　シルバー

MT-110D

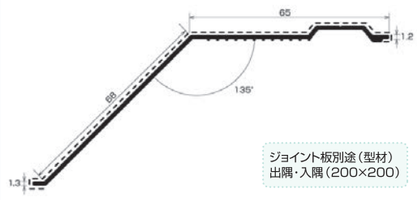


■ 規格

110×55mm×2m
t=2.0mm
色　シルバー

●MT（天端用特殊）

MT-50AB



■ 規格

H 50	68×65mm×2m	t=1.3mm
色　シルバー・ブロンズ・ブラック		

製品発注に関する注意事項／脱気装置／ 副資材・工具／太陽電池基礎架台

	製品名	規格	厚さ(mm)	ジョイント 外	ジョイント 内	コーナー 出隅	コーナー 入隅	キャップ 右	キャップ 左	備考
アルミ金物類	MF-30D	30mm×2m/本	2.0	—	—	—	—	—	—	フラット
	MF-34B	34×6.5mm×2m/本	1.5	○	—	—	—	—	—	
	ML-3010A	30×10mm×2m/本	1.2	—	—	—	—	—	—	L型アングル
	ML-3010B	30×10mm×2m/本	1.5	—	—	—	—	—	—	
	ML-3015D	30×15mm×2m/本	2.0	—	—	—	—	—	—	
	ML-3511A	35×11mm×2m/本	1.2	—	—	—	—	—	—	
	ML-4010A	40×10mm×2m/本	1.2	—	—	—	—	—	—	
	ML-4010D	40×10mm×2m/本	2.0	—	—	—	—	—	—	
	MKN-49A	2m/本	1.2	—	○	○	○	○	○	壁用
	MKN-82A	2m/本	1.2	—	○	○	○	○	○	
	MK-54A	2m/本	1.2	—	○	○	○	○	○	
	MK-72B	2m/本	1.5	—	○	○	○	○	○	
	MK-87B	2m/本	1.5	—	○	○	○	○	○	
	MK-92B	2m/本	1.5	—	○	○	○	○	○	
	MK-112B	2m/本	1.5	—	○	○	○	○	○	
	MKI-48A	2m/本	1.2	○	—	○	○	—	—	壁用（特殊）
	MT-40C	40×70mm×2m/本	1.8	—	○	○	○	—	—	天端用
	MT-50BC	50×50mm×2m/本	1.7	—	○	○	○	—	—	
	MT-55D	55×110mm×2m/本	2.0	○	○	○	○	—	—	
	MT-42BU	42×65mm×2m/本	1.5	○	—	○	○	—	—	
	MT-61BS（キャップ付）	61×72.5mm×2m/本	1.5	○	—	○	○	—	—	
	MT-40BS	40×70mm×2m/本	1.5	○※	○	○	○	—	—	
	MT-40DS	40×70mm×2m/本	2.0	○	○	○	○	—	—	
	MT-50AS	50×73mm×2m/本	1.2	—	○	○	○	—	—	
	MT-70BS	70×100mm×2m/本	1.5	—	○	○	○	—	—	
	MT-110D	110×55mm×2m/本	2.0	○	○	○	○	—	—	
	MT-50AB	H50mm 68×65mm×2m/本	1.3	○	—	○	○	—	—	天端用（特殊）

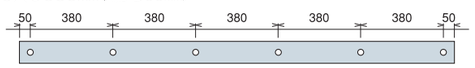
※ジョイント板の取扱いはシルバーのみです。

マルエスアルミ水切りの製品発注に関する注意事項

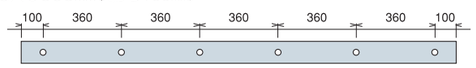
アルミ水切はMT-61BSを除き、全てビス穴無しで納材されます。ビス穴が必要な場合は発注時に必ず「ビス穴有り」と明記し「穴数」「穴径」※「穴ピッチ」「端からの距離」をご指定ください。（下図参照）

■ 穴アケ参考ピッチ ※穴径はφ4.5・φ5・φ5.5・φ6・φ6.5の5種類から選択可能です。

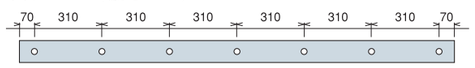
● 6穴@380mm（端から50mm）



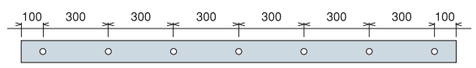
● 6穴@360mm（端から100mm）



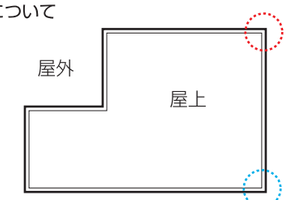
● 7穴@310mm（端から70mm）



● 7穴@300mm（端から100mm）



■ 役物回りについて



●壁用水切の出隅・入隅コーナーについて

「出隅コーナーが1か所」「入隅コーナーが5か所」となります。（屋上から屋外を見る方向）

●天端・フラット笠木の出隅・入隅コーナーについて

「出隅コーナーが5か所」「入隅コーナーが1か所」となります。（屋外から屋上を見る方向）

●各種エンドキャップ

青○部は「エンドキャップ右」赤○部は「エンドキャップ左」となります。（屋上から屋外を見る方向）

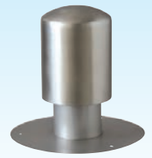
脱気装置 ニューステンレスベント・コア

ニューステンレスベント

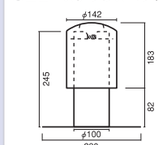
- 露出絶縁防水工法の平場より下地の湿気等を排出する脱気装置です。
- ステンレス製（SUS304）なので耐久性・耐腐食性良好です。
- 円筒部が大きいので施工性良好です。
- 形状がシンプルで頂部の開口部が大きいので脱気能力に優れています。

コア

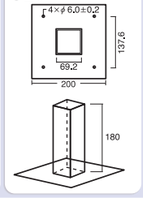
- 露出断熱工法の場合は、ニューステンレスベントの下部に使用します。



●ニューステンレスベント



●コア



副資材・工具

キュービックコート



1液型のアスファルト系防水材です。「複雑部位」「狭所」に使用します。

■荷姿：10kg／缶

クロスK

ポリエステル繊維メッシュのクロスです。キュービックコートの膜厚を確保すると共に、塗膜強度の向上効果があります。

■規格：1.02m×50m／巻

マルチシール



高耐候性変成シリコーン系シール材です。カスタムコーチングSの替わりに、防水層の端末部の雨仕舞に使用することができます。

■330mLカートリッジ24本/箱入

カスタムコーチングS



接着性、耐寒性、高温ダレ特性に優れたゴムアスファルト系シール材です。防水層の端末部や張仕舞、ルーフドレン・パイプ回りなど水密性を要求される部位に使用します。

■荷姿：22kg／缶、11kg／缶、 330mLカートリッジ24本／箱入

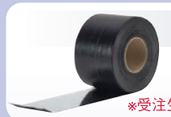
PTクロス



保護防水用の絶縁シート（フラットヤーンクロス）です。押え層の動きによる防水層の損傷を抑制します。

寸法（m）	1×200
単位質量	70g／m²

メジテープ



※受注生産

既存保護コンクリートの伸縮目地処理用粘着層付金属テープです。カッターやハサミでカットし、1スパン毎に5mm程度空けて張り付けます。

厚さ(mm)	1（剥離フィルム込）	寸法（m）	0.1×16

F16ハンドトーチバーナーセット

改質アスファルトルーフィングを融着させるバーナーセットです。

■セットと単品での購入が可能です。





「F16ハンドトーチバーナーセット」内容

- ①ホース（10m）×1
- ②レギュレータ×1
- ③カプラー×1
- ④ショートアーム　火口φ30付×1
- ⑤レギュラーアーム チタン火口φ50付×1
- ⑥火口φ70×1
- ⑦スタンド×1
- ⑧スパナ×1

太陽電池基礎架台

防水システム専用の太陽電池「基礎架台」です。適用可能下地はRCのみです。

PVマルチスタンド



PVマルチスタンド 断熱



PVマルチスタンドS



	PVマルチスタンド	PVマルチスタンド 断熱	PVマルチスタンドS
規格	φ150×175mm（ボルト径: 20mm）	φ150×210mm（ボルト径: 20mm）	φ260×175mm（ボルト径: 20mm）
素材	ステンレス製（SUS304）	ステンレス製（SUS304）	スチール製（本体SS400）
梱包単位	2個入り／箱（ビス及びアンカー同梱）	2個入り／箱（ビス及びアンカー同梱）	2個入り／箱（ビス等別途）

※詳細は専用カタログ「PVマルチスタンド」「PVマルチスタンドS」をご参照ください。

※受注生産 納期や条件については、最寄りの営業所にお問い合わせください。

防水層の維持管理について

屋上・ルーフバルコニー・ベランダ等をご利用される方へ

防水層が長期間にわたって安定した防水性能（機能）や美しい外観を保つために、日頃から下記の点にご注意いただき、定期的な自主点検とメンテナンスを実施されることをお奨めします。

使用上の注意

1.露出防水の場合　ー防水層の注意点ー

原則として維持・管理・点検以外の歩行及び使用はしないでください。



- 歩行する際にハイヒール、スパイク等底の尖った履物は防水層を傷つけるため使用しないでください。



- タバコの火の投げ捨てや火気の使用は、防水層の機能を損なうため、行わないでください。



- 雨や雪などで濡れていたり、落葉・苔・砂埃等が堆積していると滑りやすくなりますので、歩行の際には注意してください。



- 溶剤・油・不凍液・薬品類をこぼさないでください。



- ペットの飼育は、爪や歯で防水層を傷つけたり、排泄物により防水層が劣化する恐れがあります。



- 防水層を傷つけたり、物を落としたり、物を引きずったりすることは避けてください。



- 屋上設備類の定期清掃時に中性洗剤以外を使用する場合は、こぼさないように注意してください。また、清掃後は必ず周囲の防水層を水洗いしてください。



- 重量物や振動物は載せないでください。やむを得ず載せる場合には、ゴムマット等を敷き、防水層を保護してください。



- 雪下ろしには、金属製のスコップ等の防水層を損傷させやすい道具を使用しないでください。



- ゴムホースやビニールサンダルを長期にわたり置いておくと、接触している部分が変色することがあります。



- 直接客土して草木の植栽は行わないでください。ご希望の際は、専門工事店にご相談ください。

2.保護防水の場合



- 保護層上に溶剤・油・不凍液・薬品類をこぼさないよう注意してください。



- 屋上設備類の定期清掃時に、中性洗剤以外を使用する場合にはこぼさないでください。保護層の目地部等より浸透して、防水層に不具合を生じる恐れがあります。



- 火気の使用や直接客土しての草木の植栽は行わないでください。植栽をご希望の際は、専門工事店にご相談ください。

- 後から設備基礎等の施設を設置する場合には、設置方法によっては保護層を貫通して防水層を損傷する恐れがありますので、保護層の構造・厚み・積載荷重を考慮して設置してください。
- 目地部やドレン部に植物の繁茂が認められた場合には、防水層を貫通・損傷の恐れがありますので、むやみに引き抜いたりせず専門工事店にご相談ください。

自主点検時の注意

- 天候が降雨・強風の場合は、滑落等の危険がありますので、行わないでください。
- 原則として二人以上で行い、一人では行わないでください。
- 階段や梯子の昇降には十分注意してください。
- 後ろ向きの移動は危険ですので、絶対行わないでください。
- 屋上設備類には、むやみに触れないでください。
- 降雨後に点検する場合は、床が滑りやすくなっていますので、十分注意してください。
- 危険と思われる場所（怖いと思う場所）には、無理に近づかず業者に依頼してください。

メンテナンスのお願い及び注意

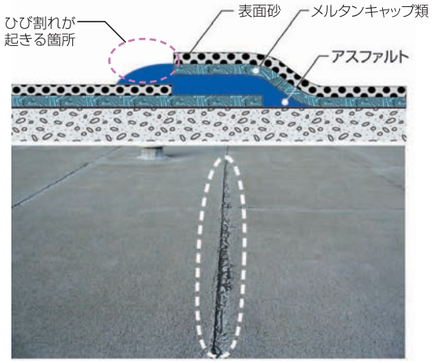
1.露出防水の場合（砂付ルーフィング仕上げ）

■お願い

- 防水層の表面状況の点検や漏水の有無の確認（1年に１回以上）をしてください。
- 防水層端末押え金物回りの点検（1年に１回以上）をしてください。
  水切金物、笠木の設置状況及び端末処理シール材の劣化状況を確認してください。
  異常がみられる場合は、施工業者にご相談ください。
- 定期的（3～6ケ月程度）に清掃を行ってください。
  飛来物や排水溝、ドレン部分の泥、枯葉等はよく除去し、水溜りのないようにしてください。
- 定期的（3～6ケ月程度）に次のように表面状態の点検を行ってください。
  保護塗料が薄くなっている、剥離を起こしている、ひび割れがある等の異常や植物の繁茂が認められた場合には、施工業者に連絡してください。
  特に植物の繁茂箇所によっては、根が防水層を貫通していることもあり得ますので、むやみに引き抜かないでください。

■ひび割れについて

※ひび割れは、下図に示す通り、防水層に影響を与えるものではなく、防水上問題ありません。



■注意

露出防水層には下記のような現象が見られる場合がありますが、防水性能には支障ありません。

- 施工時にルーフィングのジョイント部分よりはみ出したアスファルトに生じるひび割れ。
- 雨水が滞留し易い箇所に花粉、泥、塵埃（黄砂を含む）等が堆積し、乾燥・湿潤を繰り返す事により発生する表層のひび割れ、捲れ、剥離。
- 表層砂粒への錆の付着及び砂粒に含まれる鉄分による錆の発生。
- ルーフィングに付着している余剰砂の脱落。
- 表層砂粒間に入り込んだ水分（湿気）による表面の膨れ及び下地に含まれる水分による軽度な防水層の膨れ。
- 仕上（保護）塗料の自然な変色・退色・減耗・ひび割れ。

2.保護防水の場合

- 保護層の表面状況の点検や漏水の有無の確認（1年に1回以上）をしてください。
- 植物の生育発生状況の点検・ドレン清掃（3～6ケ月程度）をしてください。
  伸縮目地部、ドレン回りに砂埃等が堆積していると植物の生育しやすい環境になります。飛来物や排水溝、ドレン部分の泥、枯葉等はよく除去し、水溜りのないようにしてください。植物の繁茂が認められた場合には、施工業者に連絡してください。
  繁茂箇所によっては、根が防水層を貫通していることもあり得ますので、むやみに引き抜かないでください。

防水層の補修、仕上塗料の塗り替えは専門技術が必要です。弊社又は専門工事店に依頼してください。（有償）